

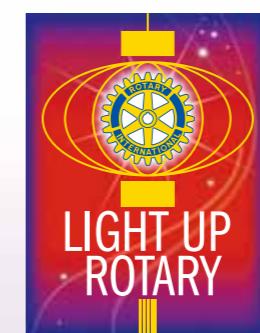
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510 2015 AUGUST No.13

2014-2015 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter *final*



Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2014-2015年度ガバナー 羽部 大仁
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
e-mail:rid2510@nifty.com http://rid2510.org

はぶあ ナイス 最終号

帰京され『教行信証』の改訂が一段落すると、宝治2年(1248)76歳のときには、『淨土和讃』『高僧和讃』をつくり、83歳のとき『尊号真像銘文』を85歳になってもなお『一念他念文意』や『正像末和讃』など、数多くの書物を執筆しながら、かわるがわる関東から訪ねてくる門弟に面接し、また念佛生活のありかたや、教義をわかりやすく説明した手紙を出された。それが『末灯鈔』とか『御消息集』と名づけられる書簡集であった。

聖人が京都へ帰られてからのちの大事件は、わが子の善鸞(慈信房)を義絶されねばならなかった事件であった。いかに善鸞が、師である親鸞聖人の実の子であっても、ことは信心と教団にかかる大切な問題であるので、在來の門弟や同行としては黙って見のがすことはできず、関東の主だった代表者は、聖人に会って真偽を問い合わせただそうと、はるばる十余ヶ国境を越えて上京したのであった。

ついに建長8年(1256)5月29日をもって、父と子の縁を切ることを善鸞に告げるとともに、性信房など主だった門弟にもこのことを通告せられた。

恵信尼公が越後に下られてから7、8年のちの弘長2年(1262)11月28日(太陽暦では翌年1月16日)弟の尋有僧都の善法院で、念佛のうちに静かに息をひきとられたのである。「口に世事をまじへず、ただ仏恩のふかきことをのぶ。声に余言をあらはさず、もっぱら称名たゆることなし。」(御伝鈔:毎年報恩講をご縁に持誦し、聖人の遺徳を讚えている)

29日に東山の延仁寺で火葬、30日に鳥辺野の北の大谷に納骨して、墓標を建てた喪主の覚信尼は、ただちに越後の恵信尼公にこれらのこと伝えられた。

CONTENTS

● ガバーメッセージ	1
● サンパウロ国際大会 参加報告	3
● 恵庭RC創立45周年を迎えて	4
● 現新ガバナー補佐引継ぎ会議と現新地区ガバナー補佐・地区委員長 合同引継ぎ会議報告	5
● 富原薰バストガバナーを偲んで	6
● ガバナー補佐退任のご挨拶	7
● 地区委員長退任のご挨拶	10
● ネバール大地震災害義援金報告	18
● 米山記念奨学会・ロータリー財団へのご協力への感謝	19
● 第42回 ローターアクト 地区大会報告	20
● 海外研修旅行・年次大会報告(インタークト)	21
● 私の雑想ノート/新会員のご紹介/計報	22
● 出席率・会員数	23

最終号 クラブ会長・幹事へ



国際ロータリー第2510地区
2014-15年度ガバナー 羽部 大仁(札幌幌南RC)

お陰様を持ちまして、6月30日一年間(2014-15年度)のガバナーとしての任務を全て終了しました。ケイリーC.K.ホアン会長の年次テーマ「ロータリーに輝きを」を推進することを地区目標に掲げ活動させて戴きました。

各クラブの会長・幹事様には、リーダーシップを發揮されこれに取り組まれ素晴らしい成果を残された事に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

7月8日深川・妹背牛ロータリークラブからスタートした公式訪問では多くの素晴らしいロータリアンとの出会いに思い出深いものがありました。それぞれのクラブが創意工夫して取り組まれた奉仕活動に頭が下がりました。11月21日の札幌幌南ロータリークラブで最後の公式訪問となりましたが、徳多きロータリアンにお会いできることがガバナーとしての最大の歓びであったと感動と共に深い感謝を申し上げたいと存じます。次に一年間を振り返って幾つかの活動をご紹介させて戴きます。

1)一番印象的で思い起こす事業は「ロータリーデー」の実施でした。私は「ロータリーデー」を実施して、地域社会にロータリーを広報(9/6北海道新聞朝刊一面広告実施)し、ロータリーが四半世紀に亘り取り組んできた「ボリオ儀減まであと少し」エンドボリオに向けて街頭募金などを含めての活動をお願い致しました。

各グループ或いはクラブ単独で、創意工夫して様々なプログラムを立て実施されました。2014-15年度に70クラブから寄せられたボリオプラスへの指定寄付(DDF寄贈分を含め)金は11万ドル以上に達しました。当地区としては最高の数値となりました。ここに重ねて厚く御礼申し上げます。

2) 7月30日から8月2日までの2泊3日で「ロータリーわくわく森の親子キャンプ」が実施されました。今年は福島から北海道に避難されている親子に声を掛け、多くの申込みの中から抽選で12家族29名が参加して楽しい時間を共有できました。手放して喜んでいる親子の姿に来年も是非実施して欲しいとの期待が湧いてきました。お手伝い戴い

た地区奉仕プロジェクト委員会始め関係の皆様に月信を通じて御礼申し上げます。

3) 次は、10月4日~5日に札幌市で開催された地区大会です。ルネサンスサッポロホテル、ニトリ文化ホール、ロイトン札幌において松本茂太郎(PDG)洵子ご夫妻がRI会長代理として参加され素晴らしいご指導を戴き成功裏に終了できました。各クラブから多くの登録と参加を戴いたことは、地区ガバナーとして最大の歓びでした。第1日の指導者育成セミナーには、ボリオプラスの第1人者関場慶博バストガバナーの講演に参加者全員が感動を憶えました。忘れる事の出来ないセミナーとなりました。その後、「地域と世界で良い事をしているロータリー」と題して行われたフォーラムは、我が地区が実施している奉仕プロジェクトを周知する良い機会となりました。今年新設された、地区ボリオプラス委員会と地区広報委員会の活動は目覚ましいもので関係各位の努力に感謝を申し上げます。第2日目の紺野美沙子氏の記念講演は会場中を魅了しました。氏が永い間務められた国連善大使としての活動と、我々のボリオ儀減運動にも共通する「相手を思いやる心」の大切さを改めて気付かされた講演でした。大懇親会では多くの感動を締めくくるに相応しい「北海道歌旅座」の演奏と歌に青春時代を思い出した多くのロータリアンが、踊り歌い楽しい一時を過ごすことができました。

4) 11月29日から12月3まで地区国際奉仕委員会が主催してタイ国チェンマイ地区、ノンカイ地区、アムナットチャロエン地区への検証ツアーに、遠藤秀雄地区財団委員長(PDG)を団長に27名の参加を得て同行して参りました。ハードなスケジュールでしたが、バンコクのソンブンさん、ノンカイのマリーさん、通訳のパーさんのご協力により感動を覚える検証ツアーとさせて戴きました。ロータリーの心を繋げてくれた皆さんに深甚な感謝を申し上げます。

5) RIの推奨プログラムの一つに「ロータリー友情交換プログラム」があります。当地区では実施した経験はありません。国際協議会で隣り合わせた台湾第3490地区オルソー

ガバナー・ヤン夫人からの呼び掛けに端を発し、私の年度で試行することになりました。1月10日から15日までの6日間台湾から11名のロータリアンとご家族をお迎え致しました。又3月5日から10日までの6日間、我が地区から熊澤PDGを団長に12名のロータリアンとご家族を派遣しました。お互いのおもてなしに、帰る頃には抱き合って別れを惜しむ光景につい貴い泣きました。素晴らしい友情交換だったと思います。予算の無い中にご協力を戴きました皆様に心からの感謝を申し上げます。

6) ロータリー財団関連では、今年度3つのグローバル・グラント事業が承認されました。是は本年度と次年度にも引き継がれますので宜しくお願い申し上げます。永年財団の窓口になって活躍頑張っている出村知佳子地区財団委員の「超我的奉仕」に相応しい活動に深謝申し上げます。

7) この厳しい経済状況下でのクラブ拡大は難しいことでした。しかし、私のホームクラブの理事会に衛星クラブの話を提案致しましたところ、衛星クラブ設立準備委員会を立ち上げて戴き、会員候補者の選定を待って、11名の会員候補者との打合せ会を重ねて国際ロータリーに衛星クラブの申請を行い、3月26日付けでRI理事会から札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの認可を頂戴することが出来ました。会員減少に悩んでおりました我が地区において、ロータリーの希望の星になるような予感がします。衛星クラブに対して末永いご指導をお願い申し上げます。会員2世・米山学友・ローター・アクト卒業生やROTEXが在籍しています。現在16名になりました。

8) 最後に地区目標の一つとして掲げていました「地区史Ⅱ」が完成して皆様にお配りできました。この編纂につきましては、塚原房樹PDGを編纂委員長と委託を受けた委員皆様の、1ヵ年に亘る地道な努力によってこの4月に完成を見ました。素晴らしい出来映えに唯々感謝を申し上げます。我が地区の新たな足跡となりました。18年ぶりの発刊に感謝感激です。

ロータリーは国際理解と親善と平和を推進するために奉仕活動を行ってきました。地域社会に奉仕することにより、国際理解で世界に奉仕することにより、修養を積むことにより、すばらしい人間が形成されてくるのでございます。是非これから世界をロータリー運動で輝かせて欲しいと活動した一年でした。

昔から「量より質」との議論が絶えないが、すばらしい奉仕の実践により私たちの心はやがてすばらしい心に醸成されて参ります。従って多くのロータリアンの入会がやがて多くのすばらしいロータリアンの集合体となるのであります。量か質か一切問題にならないと考えるに至りました。是非一日も早く多くの奉仕の担い手をロータリークラブに迎えて下さい。

次に若者の育成も大切なキーワードであると公式訪問を通じて多くのクラブで話してまいりました。比叡山延暦寺を建てた伝教大師最澄の「山家学生式」に出てくる「一隅を照らす これすなわち 国宝なりと」(社会の一隅にいながら、社会を照らす生活をする。その人こそ、なくてはならない国宝の人である)と最澄は中国(唐)に渡り天台・真言・禪・法華を学び若者の育成こそ、仏教の最大の事業であると桓武天皇に上奏したのが山家学生式です。「悪事を己に向かえ、好事を他に与え、己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり」この心はロータリーの超我的奉仕に通じるものであると考えています。「一灯隅照 万灯照國」一人一人のロータリアンが社会全体に奉仕の理想を掲げて生活することにより、世界中を平和に導くことになるとゲイリーC.K.ホアン国際ロータリー会長は力説されたのです。

私は幸せな人間です。やりたいことを全てやった安堵感に浸っています。それは多くの素晴らしいロータリアンとの出会いにありました。私の一生涯の宝ものです。70クラブの会長さん・幹事さん本当に一年間有難う御座いました。

12名のガバナー補佐には素晴らしいIMを実施して戴きました。又度々担当クラブを訪問され、地区の要請を各クラブへ効果的に伝えて戴きクラブをサポート出来ました。

又地区運営で忘れられない地区委員会の素晴らしい活動(特別月間の卓話など)により、クラブをサポートする事が出来ました。地区戦略計画の重点課題を見事に応えて下さいました。年度を終えるに当たり担当された皆様に心からの敬意と感謝をお伝えしたいと思います。有難う御座いました。

最後に私をノミニー時代から三年間に亘り陰に陽に支えて下さった田澤代表幹事始めガバナースタッフの皆様には、これからロータリーライフを通じて恩返しをしたいと考えています。是を持ちましてガバナー月信最終号(13号)のメッセージを閉じさせて戴きます。一年間のご購読に陳謝申し上げます。

2015年ロータリー サンパウロ国際大会 参加報告

地区幹事 長沢 祐純(札幌幌南RC)

2015年のロータリー国際大会が6月6日(土)から9日(火)にかけてブラジル・サンパウロにて開催されました。

今年は遙か日本の裏側ブラジルでの開催もあり、3つのコースが企画されました。

Aコースはドバイ経由サンパウロ着、大会参加後主にアマゾン川流域を見学するコース(11日間)、Bコースは同じくドバイ経由サンパウロ着、大会参加後リオデジネイロに滞在するコース(9日間)、そしてニューヨーク経由サンパウロ着、大会参加後ニューヨーク滞在(8日間)のCコースです。

私共のCコースは、羽部ガバナー父娘・嵯峨ガバナー・エレクトご夫妻をはじめとした14名の参加がありました。



6月3日新千歳空港に集合し搭乗手続きを済ませ、昼食をかねて団結式を行い後は出発を待つばかりでしたが、なんと空港付近での突然の雷雨の発生により暫し見合わせのため出発遅延となり、成田空港でのニューヨーク行乗継便に間に合わない事態となりました。

同行していた産経海外旅行の斎藤さん(札幌北ロータリークラブ)の尽力により代替の便を手配しつつ、ともかく成田空港へ向かいました。結果成田空港で航空会社から代替便の説明があり、エアチャイナの北京発スペイン(マドリッド)経由・サンパウロの便ならば当初の座席を確保でき、翌日中に入れるということで決定し急遽北京に向かいました。いきなりのアクシデントで何故北京やマドリッドにいるかピンとこなく、北京まで4時間、その後の12時間前後ずつの乗継は些かこたえましたが、思いがけず世界一周の旅となり大変思い出深い事となりました。

6月4日午後に無事サンパウロ着、サッカー博物館を見学。サンパウロは日本と気候が逆なので初秋の頃になるそうです。急な坂道が多いのは意外でした。ブラジルはポルトガル語が公用語なのでさっぱりわかりませんが、ガイドさんに日本語の「待って」は「殺せ」の意味なので決して使わないで下さいと教えられたのが印象に残っています。また治安が悪いため単独行動や夜間の外出は慎むべきとのことで、バスによる移動が中心となりまし

た。経済の安定が望まれるところです。

翌5日大会会場にて受付、友愛の広場等会場の下見の後、日本人街・日本移民資料館を訪問、かつての移民が奨励された時代と現在までの日系移民の苦勞が偲ばれました。

夜には2510地区RI国際大会推進委員長・細川パストガバナーの主催により「北海道ナイト」がレストラン「パライソ」で開催され、総勢40名の参加を得て当地名物のシュラスコ料理を堪能し、賑やかで和やかな宴会となりました。

6月6日午後国際大会に参加、ステージ上の華やかなサンバの演奏後国際大会が開催され、国際大会実行委員長挨拶・サンパウロ市長挨拶・サンパウロ州知事挨拶・ゲイリーC.K.ホアンRI会長の挨拶と続きました。サンパウロ州知事は今回の国際大会を機にロータリーに入会、RI会長よりバッジを授与されました。また、同会長よりRIテーマ「LIGHT UP ROTARY」の推進、ボリオ撲滅運動の経過、会員増強の推進等のお話がありました。

今回の国際大会はサンパウロという遠い地でしたが、日本からの登録は950名、そのうち2510地区から40名という大勢の参加をいただき、賑やかに大会に参加できました事に感謝致します。また、各国のロータリアンと触れる機会が得られたことは貴重な体験となりました。このような機会がなければおよそブラジルを訪れるとは考えられませんでしたので、思い切って参加してよかったと思います。その後各コースごとの行程を経て全員無事に帰国致しました。

あらためてご多忙の中、国際大会に参加していただいた地区ロータリアンの皆様、そしてCコースの道中、苦楽と共にしたロータリアンの皆様、楽しくまた思い出に残る国際大会の旅にしていただき有難うございました。この紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。



創立45周年を迎えて

恵庭ロータリークラブ
会長 前田 利和(恵庭RC)

5月23日(土)、恵庭市民会館3階にて恵庭ロータリークラブ創立45周年記念式典及び祝賀会を行いました。

恵庭ロータリークラブは1970年3月24日札幌幌南ロータリークラブをスポンサークラブとして、異業種23名の経営者が集い設立、現在47名の会員が中川実行委員長を中心に一丸となって創立45周年の準備を進めてまいりました。

RI第2510地区羽部大仁ガバナー、恵庭市長原田裕様をはじめ、佐藤秀雄・バストガバナー、市内団体各位、第7グループ各クラブ、スポンサークラブ札幌幌南ロータリークラブ、友好クラブの福岡県行橋ロータリークラブ、千歳ローターアクトクラブの皆様など多数のご臨席をいただき、総勢230名の参加人数で開催致しました。

式典では「恵庭ロータリークラブ45年の歩み」をまとめたスライドショー放映から始まり、開会点鐘、中川富雄実行委員長の開会挨拶、ご来賓及び出席者紹介、会長挨拶と続き物故会員追悼を行い、更に、チャーターメンバー表彰式、歴代会長、幹事への感謝状授与を行いました。



来賓挨拶は、恵庭市長、羽部ガバナー、田中道議会議員、佐藤バストガバナーから頂戴し、今後も地域社会への奉仕に期待を寄せられました。

この度の創立45周年記念事業として、タイ国チェンマイ地区図書館設置事業への寄贈、恵庭市図書館へ書籍購



現新ガバナー補佐引継ぎ会議と 現新地区ガバナー補佐・地区委員長 合同引継ぎ会議報告

地区代表幹事 田澤 泰明(札幌幌南RC)

6月14日(日)ルネッサンスサッポロホテルで、現新ガバナー補佐引継ぎ会議と現新地区ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議が開催されました。

午前の部として現新ガバナー補佐引継ぎ会議が行われ、午前10時30分に私の司会で、羽部大仁ガバナーの開会挨拶が行われ、その後、第1グループの村中俊二ガバナー補佐より順に11グループのガバナー補佐から活動報告がなされました。第9グループの富田孝夫ガバナー補佐は都合により欠席されました。

引き続き12名の次期ガバナー補佐が紹介されそれぞれ次年度に向けての活動計画を発表されました。その後次期研修委員の丸山PG、熊澤PGより感想とアドバイスのお言葉がありました。

最後に嵯峨義輝ガバナーエレクトより閉会のご挨拶があり、午前の会議が終了いたしました。

1時間の昼食休憩の後、午後1時半より現新地区ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議が開催されました。羽部大仁ガバナーよりご挨拶があり、引き続き現新合同会議ということで、嵯峨義輝ガバナーエレクトからもご挨拶をいただきました。

引き続き当該年度の地区委員長の活動報告、次年度



地区委員長の活動計画が発表されました。例年ですが活発な活動報告、活動計画の発表がなされました。今年度は発表時間を厳守していただいたせいか、予定の時間通りに進行しました。

最後にガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所のお知らせと報告があり最後に武部實ガバナーノミニーより閉会のご挨拶があり会議が終了しました。

その後隣室で全員での写真撮影が行われました。

午後4時より、五十嵐閣次期地区代表幹事の司会進行で、合同懇親会が開催され、羽部大仁ガバナーの開会挨拶、嵯峨義輝ガバナーエレクトの乾杯のご発声で懇親会が賑やかにスタートしました。現役員の苦労を称え、新役員の健闘を祈りながら、最後に武部實ガバナーノミニーの閉会のご挨拶で懇親会が終了しました。



**富原 薫
パストガバナーを偲んで**

富原 薫パストガバナー 【ロータリー歴】
 (札幌ロータリークラブ) 1981年9月30日 札幌ロータリークラブ入会 1994~95年度 ガバナー
 2015年5月15日ご逝去 1990~91年度 クラブ会長 1995~96年度 地区会員増強委員長
 (享年99歳) 1985~89年度 地区広報委員長 1998~99年度 地区拡大委員長
 1992~93年度 地区財団推進委員 マルチブル・ボール・ハリス・フェロー



国際ロータリー第2510地区 ガバナー 羽部 大仁(札幌幌南RC)

富原パストガバナーは地区内で最年長のパストガバナーでした。私がガバナーに就任して以来体調が優れなかったようですが、エレクト時代には諮問委員会でお会いして懐かしい昔の話をされて私の緊張をほぐして下さいました。ご縁が深く、富原パストガバナーには2003~06年度までの3年間私が地区クラブ奉仕委員長を仰せつかりました折、カウンセラーとしてご指導を戴きました。委員会が開催される時には必ず富原パストガバナーからご講演を戴く事になっておりました。それはロータリーの神髄にふれるようなお話しから、ガバナー年度の楽しいお話しまで実に幅広いものだったと今思い起します。

富原パストガバナーの年度テーマは「友達になろう」でしたので、クラブ奉仕の一番は会員同士が一日も早く眞の友達になることが大切だと力説しておられました。会員相互の親睦こそクラブ奉仕の原点だと、富原パストガバナーから戴いた格言としてこれからロータリーライフに生かして参ります。

委員会の時には富原パストガバナーを始め委員が勢揃いして美味しいご馳走を頂戴しました。勿論会費制でしたが楽しい時間を過ごさせて戴いたことを何時までも忘れません。一度故戸部アマリア委員のお宅でメキシコ料理を頂戴する機会があり、その折富原パストガバナーから「このようなホームパーティーは実に愉快ですね!」の言葉が印象的に思い出されます。富原薰パストガバナーの我が地区への多大なご功績に、深甚なる敬意と感謝を述べて追悼の言葉とします。

富原パストガバナー長い間有難う御座いました。

札幌ロータリークラブ 廣川 雄一

富原パストガバナーのご逝去は、私にとりましてはロータリークラブの師と仰ぐ方でしたので、深い悲しみであります。ロータリークラブでの敬愛される活動とともに、北海道の文化や環境に貢献されましたことは、私達に改めて奉仕の精神を教えて下さいました。

私は富原ガバナーの地区副幹事として、青少年奉仕の担当をいたしました。阪崎地区ライラ委員長(札幌西RC)と「青年の育成」を実行するため、ガバナー事務所の佐藤さんと、3ヵ月近く計画・諸準備に当たりました。

「友達になろう」をテーマに、YOSAKOIソーラン祭りから若者の連帯や主体性を学ぶことにし、1994年9月23日から2泊3日で手稲ランド研修センターに、100名以上の参加者により実施することができました。

富原ガバナーは、初日ご挨拶でお帰りになるだろうとの私達の想定を越え、参加者の中に入つて食事をし、最後までおられました。さらに翌日は、踊り子や若い方達と一緒に踊られ周囲を感激させました。この光景を私はインパクトをもって覚えております。

富原さんを中心に西條幹事・副幹事を交えたガバナー事務所でのロータリー談義。時にはジョッキを片手の楽しい夕宴の会で、知らないうちに吸収できたロータリーの知識。富原さん。本当にありがとうございました。

温かいお人柄を偲びつつ、ここに心からご冥福をお祈りいたします。



| 2014-2015年度 | ガバナー補佐退任のご挨拶 |

第1グループ

ガバナー補佐
退任にあたって
第1グループ ガバナー補佐
村中 俊二(深川IRC)



第1グループのガバナー補佐を1年間、無事務めることができ、ご指導をいただきました地区関係者の皆様のご協力に対し、厚く感謝申し上げます。

羽部ガバナーのご指導の下、年首の活動計画に基づき、各クラブの会長・幹事の皆様、そして会員の皆様方のご理解と協力の下、各種の行事を実行して戴き、無事任務を終えることができましたこと、改めて心よりお礼を申し上げます。

また、5月のIM(都市連合会)には、深川市の山下市長、長野市議会議長、羽部ガバナー等のご参加を賜り、塚原パストガバナーの素晴らしい基調講演に各クラブの皆様に感銘していただき、交流懇親会では深川ロータリークラブと姉妹提携を結んでいる韓国南海ロータリークラブの会長以下6名の会員の皆様も参加され、国際交流を含め、親睦と友情の輪を大いに深めていただきました。

各クラブが会員登録をして多数の皆様方が参加の下、素晴らしい盛り上がりの中で、第一グループの結束の固さを示していただいたことに心より深く感謝申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐
退任のご挨拶
第2グループ ガバナー補佐
武藤 哲雄(赤平RC)



1年間、ガバナー補佐として貴重な経験をさせて頂き感謝を申し上げます。

ガバナー補佐を引き受けに当たり不安が有りましたが、羽部ガバナーの素晴らしい人柄に触れ、少し安心しました。またグループ内の会長・幹事さんを始め各クラブの会員皆様のご協力と地区幹事の皆様の温かいご指導を頂き何とか責務を果たすことができました。

今年度羽部ガバナー最大の取り組みとなる「ロータリーデー」の実施がありメインテーマは、ボリオ撲滅の挑戦、2510地区総力を上げボリオ募金やボリオの啓蒙をボスターなどを使い各地域にアピールを行い、我がグループは、各クラブ独自の個性豊かなイベントを実施し成果を上げました。

IMは、羽部ガバナーをお迎えし、植松電機の専務様が講演を行い、出席の皆様から好評を博し、またグループ内の各会員の多くの参加と協力を頂き、会員相互の親睦と交流を深める懇親会では大いに盛り上がり、裏で支えて頂いた実行委員の皆さん努力により、成功裏に終えることが出来ました。

この一年間ガバナー補佐として、関わるの有りました全てのロータリアンの皆様の好意と友情に感謝を申し上げます。有難うございました。

第3グループ

ガバナー補佐
退任のご挨拶
第3グループ ガバナー補佐
磯野 武司(栗山RC)



振り返るに、2013年12月7日、「ガバナー補佐会議」が、実質ガバナー補佐としてのスタートの日であります。以来約1年半の間、第3グループのロータリアンの皆様とともに、ロータリー活動を推進して参りました。

幾つかのガバナー補佐としての役割を認識しつつも、一番大切なことは「各クラブの会長・幹事の活動意欲を如何に喚起させるか」にあるとのご示唆を頂きました。そのような観点から、クラブ訪問を始め、会長・幹事会を開催する中で、第3グループのロータリアンの皆さんの真摯な諸活動を垣間見るに感銘さえ覚えました。とりわけ、本年度の重点課題でもあります「ボリオ撲滅運動」に賜ける各クラブの創意と意欲ある活動に対し改めて感謝申し上げます。

終わりに、機智とユーモアに富んだ人間性豊かな「羽部ガバナー」との出会いは、私にとって生涯忘れ得ぬ人生の糧として心に残ることでしょう。今日までご指導頂きました関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶と致します。

IMでのご協力に
心から感謝
第4グループ ガバナー補佐
出口 元治(札幌西北RC)



羽部ガバナーのもとで1年間何とか大任を務めさせていただきました。

年々1年が短くなる感がありました、しかし振りにこの1年間は「長かったなー」という実感があり、充実した期間であったと思います。特にクラブ訪問では各クラブの会長さんはじめ多くの会員の皆様とお知り合いになれたことが大変良かったと思っております。

懸案の第4・5グループ合同のIMを開催、概ね好評をいただきました。特に全会員の約80%以上、近来にない多数の会員の登録をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。これを機に、從来やって不評であったIMを今後一層充実したものにしていただきたいと願っております。

羽部ガバナーの公式訪問に帯同し、ガバナーのすばらしいお人柄に接することができて大変嬉しく思っております。

第5グループ**ガバナー補佐
退任のご挨拶**

第5グループ ガバナー補佐
和田 壬三 (札幌幌南RC)

第5グループガバナー補佐の使命を終えるにあたり、グループの各クラブの会長・幹事はじめ、多くの会員に対しても、どのクラブに対しても好意と友情を感じるようになりました。

補佐としての役割を与えられたことにより、グループ内の地区主催のイベントや、各クラブ主催のイベントに、出席の機会が与えられたこと、その度に卓話の機会や交流の機会を与えていただいたことにより、私自身の人格を皆様に知っていただけた結果であろうと、このような機会を与えて下さった羽部ガバナー並に札幌幌南ロータリークラブに改めて感謝申し上げます。

第5グループの各クラブは、同じ市内のクラブとは思えない程、個性豊かで、各クラブ毎にその特徴を生かした素晴らしい活動をしていることを学ばせていただきました。この場を借りて、各クラブの皆さんに熱く感謝申し上げます。

今後も益々発展されることを祈ります。

**第6グループ****補佐1年間の
ご支援に感謝**

第6グループ ガバナー補佐
志比川 武 (蘭越RC)

羽部ガバナー、地区役員の皆様、第6グループの各クラブ会長・幹事・会員の皆様、1年間ご支援ご協力を賜りました事に対して深く感謝申し上げます。

さて、ガバナー補佐を引き受ける当該年度の始める半年前から会議、研修、会長エレクト研修セミナー、地区協議会、現新ガバナー補佐会議と休まる暇はありませんでした。

私がクラブと地区的橋渡しとして十分に役割を果たせたかを考えますと、力及ばないことも多々あったことと思います。例会で唱和される「4つのテスト」「真実かどうか、みんなに公平か…」と唱えていくうちに、私は毎週の例会でロータリーの仲間から新たなる力を貰っております。

この一年間羽部ガバナーにおかれましては、地区的戦略計画の一つ、ロータリーデーの実施、ボリオ撲滅に向けて地区・クラブ・地域社会と連動して取り組んだことを思い出されます。

ガバナー補佐として第2510地区・グループ内各クラブの例会、クラブ協議会に出席しましたが、どのクラブからも親愛なる励ましとお力添えを頂きました。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

1年間ガバナー補佐を引き受け大勢のロータリアンにお会いすることができ感謝、感謝、感謝…。

**第9グループ****ガバナー補佐の
任期を終えて**

第9グループ ガバナー補佐
富田 孝夫 (室蘭東RC)

月信の原稿依頼が来て、今私はこの原稿をたいへん空しく、また計画通り活動できなく申し訳ない気持ちで書いています。

本年1月に任期途中で体調を崩し闘病生活となり、羽部ガバナーをはじめ第9グループ各クラブのメンバーにも多大な迷惑をかけましたことを心より陳謝いたします。

また、後半に予定していた行事が計画通り実施できたことに對し、各クラブ会長・幹事、また私の所属いたします室蘭東ロータリークラブのメンバーに改めて感謝申し上げます。

**第10グループ****ガバナー補佐
退任のご挨拶**

第10グループ ガバナー補佐
小泉 護太郎 (函館セントラルRC)

この1年間、第10グループのガバナー補佐を務めさせて頂きました。

会長・幹事会でグループが抱える諸問題についての打合せ、羽部ガバナーに同行した公式訪問、補佐として各クラブへの訪問、11月には「職業奉仕の精神を学び、ロータリアンの心に輝きを」をテーマにして第11グループとの共催によるIMの開催などを通じて、会長・幹事さんを含め多くの会員の皆様とお会いさせて頂きました。厚く御礼申し上げます。

ガバナーにお聞きしますと国際協議会会場の入口には「Enter to learn, go forth to serve (入れば学び、出でて奉任せよ)」という標語が掲げられているそうです。各クラブは素晴らしい奉仕活動をされておられ、私自身大変勉強になりました。しかしながら日本人特有の奥ゆかしさから、ロータリーの広報活動を遠慮されているようあります。公共イメージの向上の視点では一考を要することかと思っています。次年度以降においてクラブでの戦略計画として、これらの課題についても考究されるようですので、成果を期待することです。

浅学非才な身ですが、羽部ガバナー、地区幹事をはじめ地区役員、地区委員会の皆様に支えられ任務を果たすことができました。ここに感謝申し上げまして退任の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

**第7グループ****楽しかった
ガバナー補佐**

第7グループ ガバナー補佐
菊池 重敏 (北広島RC)

何もわからない中にガバナー補佐をお引き受けし、緊張の最中に初めてのクラブ訪問、針のムシ口にする思いでした。どのクラブからも温かくお迎えを受け、鬼はいなかったと安心しました。

6回のクラブ訪問と4回の会長・幹事会を経、和気あいあいと交流を深め、会長・幹事会では、ガバナー補佐エレクトと共にノミニーを選出することを決め、またロータリーデーの取り組みをお願いし、各クラブが実施してくれました。

IMでは全クラブ100%の登録を頂きました。IMのテーマは「ロータリーにおける広報とは」と題し、杉江俊太郎地区広報委員長の基調講演を頂き、各クラブから熱のこもった発表で大成功に開催できました。

羽部ガバナーとの公式訪問では、ガバナーの楽しいお話しをたくさん聞かせて頂き、「ガバナーは住職、私は宮司、仏神混合で頑張ってます」と挨拶の大爆笑が今でも耳に残っています。

ガバナー補佐を体験し、一回り人間的に成長させて頂いた思います。

私も支えてくださった多くの皆様ありがとうございました。

**第8グループ****ガバナー補佐
退任のご挨拶**

第8グループ ガバナー補佐
富永 信 (三石RC)

羽部ガバナーの温かいご指導と、第8グループ5クラブの会長・幹事及び会員各位の友情に支えられ補佐としての役目を全うすることができました。

ガバナー公式訪問やクラブ訪問で感じたことは、各々のクラブが長い歴史と伝統を守りながら地域に密着した奉仕活動を行っており、地区主催の国際奉仕活動にも積極的に参加するなど持続的新しい奉仕活動を展開しているということでした。このことは、私にとりましてもロータリー活動の奥深さを改めて認識させて頂く機会になりました。また、本年度のRIテーマは「LIGHT UP ROTARY」で、羽部ガバナーは4つの重点項目を挙げましたが、最も力を注いだボリオ撲滅運動に関しては8グループ全クラブの賛同を得て、「子どもたちにボリオのない世界」をの表題で日高報知新聞に広告を9月7日、9月14日の2回掲載、さらに三石ロータリークラブがホストを務めたIMでも募金箱を用意させていただいたところ参加者全員から過分なる寄付を頂き、羽部ガバナーのボリオ撲滅に対する熱意が2510地区全てのクラブに行き渡っていることを確信することができました。ガバナー補佐として1年間活動することができたのは8グループ会員各位の寛容の精神と叱咤激励によるものであり、私の大きな財産となりました。

終わりに、羽部ガバナー、IMで講演を頂きました細川バストガバナー、適切なアドバイスを頂戴した田澤地区代表幹事を始めとする地区幹事の皆様、私を支えて下さったガバナー補佐委員会委員長、三石ロータリークラブ会員の皆様に衷心より感謝申し上げ退任のご挨拶を致します。

**第11グループ****ガバナー補佐
退任のごあいさつ**

第11グループ ガバナー補佐
大日向 豊吉 (函館五稜郭RC)

冗談話の戯れ言が結果としてこの1年、未熟な私がガバナー補佐の重責を任されてしましました。

ロータリークラブに入会当初から、私は一員としての在籍だけを願ってきたのですが、今では当クラブにおいて古参の部類に入ってしまいました。

今、退任するにあたってこの1年を顧みると、私にピッタリの言葉が見つけることができました。「井の中の蛙 大海を知らず」であります。

担当クラブを訪問するたびごとに、また研修会に参加するごとに、多くのロータリアンと知り合い、考えさせていただく機会をえていました。このことは私にとって何物にも代えのできない大きな財産であります。今はただただ感謝の気持ちで一杯であります。

最後に、我が儘な私をロータリー補佐に推薦してくれた函館五稜郭クラブ会員皆様はじめ、多くの皆様と知り合う機会をえてくださいました。

ありがとうございました。

**第12グループ****ガバナー補佐の
1年を振り返って**

第12グループ ガバナー補佐
手塚 貴志 (白老RC)

利他の心で大奮闘された羽部大仁ガバナーに一年間お仕えし、私自身多くのことを学ばせていただきました。同時に11人の個性豊かな仲間のガバナー補佐の皆さんと楽しく務めさせていただきましたことに心からの感謝を申し上げます。

第12グループは白老と苫小牧3つの4クラブで構成されており、距離間も小さく7~8クラブを束ねるガバナー補佐から比べるとクラブ訪問に掛かる時間や労力などの負担は小さいものであります。

ロータリーデーの実施、ボリオプラスの特別寄付などでは各クラブともそれぞれ工夫を凝らして実施していただき初期の目標を達成していただきました。

4月下旬韓国300地区の地区大会に羽部ガバナーにお伺致しました。大会で友好地区の来賓として羽部ガバナーが見事な韓国語でご挨拶され満場の拍手を受けられました。超多忙な職務をこなされながら、この挨拶の為に一年間韓国語の先生に習われたそうです。

ホスピタリティあふれる羽部ガバナーにお仕えできることは私自身にとって幸運であります。そしてガバナー補佐として送っていただきました白老クラブの仲間の皆さんに感謝し、この任を終えさせていただきます。



2014-2015年度 地区委員長退任のご挨拶

会員増強委員会

委員長 安孫子 建雄(江別RC・PG)

会員増強はロータリーの永久の活動テーマです。

全世界で201カ国122万人超34,558クラブ(2014.10)は横ばい傾向にあります。我が地区は今年度期首会員数2,497名70クラブで2014-15年度を迎、純増101名を目指して6月末日2,544名となりました。
田中作次元RI会長のSAKUJI作戦は毎年3%純増を果たし3年間で10%増を目指しております。
いま日本は人口減に入り、あらゆる企業・団体でその数を維持することが難しくなっています。加えて高齢化は若年層の取り込みに遅れを生じることになります。会員を増やすことは必要です。現状のメンバーはいずれ退会していきます。ロータリーを理解し会員であることに誇りを持ち、かかるのちに仲間を誘う事につなげていくことが望ましいのではと考えます。
ロータリー活動に後ろ向きでは仲間は増えません。知り合いを新しく会員に迎えようではありませんか。



地区史編纂委員会

委員長 塚原 房樹(札幌東RC・PG)

地区史『パートII』の発刊を終えて

当地区の地区史『パートI』は、最初1996年12月に発刊されました。その後、現在の羽部ガバナーまでの19年間は空白となっていました。その空白を埋めるべく、羽部ガバナーの英断で「地区史増補改訂版」の編纂が決まり、今年度、地区史編纂委員会が19年ぶりに発足しました。
委員の方々の献身的な努力により、四散した資料を集めという地道な一年に及ぶ作業を終え、羽部ガバナーの年内に刊行の運びとなり感無量のものがあります。
また本作業を進めるに当たり、バストガバナーの皆様や、各クラブの会長・幹事さんには大変ご協力いただき心からの感謝を申し上げます。4つのテストで有名な元RI会長のハーバート・テラーは、国際ロータリー50周年のスピーチで「過去に学んで行動せよ」といわれました。ロータリーは、ロータリーを取り巻く環境の変化により、時代とともに変わってまいります。しかし忘れてはならないものがあります。それは先人が歩んだ奉仕の足跡です。ロータリーの役職は年々ローテーションをいたします。「我々はどこへ行くのか」を知るために、温故知新といいますが、自分のクラブの歴史を知ることにより、未来への道を知ることになります。ぜひ折に触れ「地区史」を繙いてください。また新会員の入会式の時にこの地区史をクラブからお渡しください。
この地区史がいさかでも皆様方のお役にたてることを編集委員一同とともに祈念しております。



RI国際大会推進委員会

委員長 細川 好弘(静内RC・PG)

退任ご挨拶

2015年6月6日から9日まで、ブラジル・サンパウロでRI国際大会が開催されました。「感動と学びに満ちた楽しいひとときをお過ごしください」とゲイリーC.K.ホアンRI会長の歓迎の言葉で、ブラジルが誇るサンバのリズムに包まれた賑やかなオープニングがありました。
開会式の前日6月5日には第2510地区主催の「北海道ナイト」が開催され、38名の会員と家族が参加され、ブラジルのシュラスコ料理をメインに楽しい交流で盛り上げていただきました。
その後、羽部ガバナーとご令嬢、嵯峨ガバナーエレクトご夫妻、武部ガバナーノミニーご夫妻、熊澤PGご夫妻、安孫子PGご夫妻、私細川PGの第2510地区6代連続役員揃い踏みと共に、安孫子PGと同期の北山PG(八戸ロータリークラブ)ご夫妻も同席され、シュラスコ料理の丸焼き厨房の見学を折り込みながら、長旅談話に華を咲かせました。例年の如く、日本旅行、産経海外旅行の方々に協力していただきましたが、単独で世界一周の旅を楽しんだメンバーもおられたようです。
なお、国際大会会場の台湾ブースではゲイリーC.K.ホアンRI会長ご夫妻を囲んで、お祭り会場の様に賑わっておりましたが、夜の部ではサンバのカーニバルで特別なプログラムが披露され、参加者はブラジル文化を堪能されて帰国されたことと思います。
大会SAAからの情報ですが、世界からは約14,500人(内3,000名はブラジル)、日本からは約950名余の参加だそうです。詳しくは公表発表でご確認ください。



拡大委員会

委員長 佐々木 正丞(札幌RC・PG)



退任ご挨拶

年度当初に札幌セントラルRCの国際ロータリー脱会があり、今年度もまた脱会するクラブがあるのではないかと、拡大よりもクラブの脱会を気にかけておりました。

しかしながら、新しいロータリークラブの設立は見られませんでしたが、羽部ガバナーの所属する札幌幌南RCで札幌幌南RC・ライラックロータリー衛星クラブの認可が3月にあり、これもまた一つの拡大への新しい手段ではないかと感じました。

引き続き、このようなロータリー衛星クラブ、ロータリーEクラブを視野に入れて、可能性のあるクラブに働きかけをすると共に、RIを脱会する可能性が出てきているクラブへの援助や支援を継続して行っていきたいと考えます。

文献資料室

委員長 中村 明広(札幌手稲RC)



1年目の委員長を終えて

私は、地区文献資料室の委員として4期になりました。委員として3期、2014-2015年度、初めて委員長として務めさせていただきました。

文献資料室のミッションは「蓄積」という側面が大きく、アクティブラリーナリエートという特性もあり、どのように活動するかというのは歴代の委員長の課題だったと思います。私もどのように活動していったらよいのか正直戸惑ったところです。それで、委員長に就任する前に、地区文献資料室の歴史を再度確認してみました。設立当時の準備委員会の具申書には次のようにあります。

「国際ロータリー細則等に明記してあるとおり、ガバナーは地区の記録ないし要覧を整備して、全部後継者に引き継ぐことになっているが、ガバナーシステムが1年限りで転々とすることや、文献の保管方法がない等のことから、地区的文献が散逸しかけている現状にあるので、地区文献を完備して、ガバナーの任務遂行に役立てる」とし、また、地区内各クラブに対して、活動のための参考資料を常時閲覧しておけるようにしておきたい。」

私たち文献資料室はガバナーの任務遂行に役立っているのか、クラブのためうまく利用されているのかどうか、といった当初の目的を果たせているのかどうか、そのあたりは大きな検討課題かと思いました。また、私たち委員は地区史編纂を通してクラブの歴史やたくさんの活動を知ることができました。文献資料室には、出来上がった紙しかありませんが、私たち委員の記憶にも会員皆さんの記憶にも、歴史や活動が「活きた」文献資料として残っています。この活きた文献資料をぜひ、世の中に、クラブの後進に、伝えていっていただけるようお願いします。

2015-2016年度も引き続き委員長を務めさせていただきますのでよろしくお願いします。

クラブ管理運営委員会

委員長 宮部 光幸(札幌モーニングRC)



『親睦だったら、任せておけ』という声がある…

2009年度からのCLPの取組み経過は本年度発刊の「地区史」に掲載させていただいた。この経過はRID2510地区のRIの指令への対応の歴史の一端である。補遺資料2、あるいは3「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」はRI活動指針そのものである。このことは今年度の地区大会での松本茂太郎RI会長代理の報告により明らかである。1会員・拡大、3ロータリー財団の2項を報告の骨子としていたが、この報告は補遺資料3を熟読しているならば、極めて、分かりやすい報告である。殊ほど左様にRIが地区へ、あるいはクラブで推進しようすることは、多分、多くの会員に分かる仕組みになっている。しかしながら、ここで言えるのは、それ程、ロータリーに血道を上げる会員はいないだろう、ということ、毎年、手を変え、品をかえ、追加される会員要覧の補遺資料は増加している。これの結果を把握する場面はあるのだろうか。

MyRotaryの利用状況の調査結果は地区研修セミナーでの発表となった。全クラブの送信を確認しデータ化した札幌南クラブ・堀元会員には心より御礼を申し上げたい。全クラブの56%がMyRotaryを利用している。56%のクラブがホームページを持っている。ただ、この2つはリンクしていない。これから先の展開はIC委員会にお任せしたい。

親睦活動を集中的に調査、一部電話によるヒヤリングは札幌手稲クラブの宇野副委員長が行った。補遺資料の親睦の項に注目する活動が並んでいた。その中からいくつかのクラブに電話でのヒヤリングを行った。素晴らしい活動があった。これは次年度、大きく取り上げたいとの報告。親睦は大事だと歴代ガバナーが仰る。そう思う。CLPにしても、奉仕活動にしても、それはロータリーの親睦と友情を盛り付ける器である。器が立派になってしまって、そこに盛り付ける親睦が無いとしたらロータリーはどうなるのだろう。RIの方針に沿った活動が上手くできない、或いは地区的活動方針に沿った活動が儘ならない、さらにはクラブの規模からして、永久にガバナーを輩出する見込みのないクラブにも「親睦」はある。

『親睦だったら、任せておけ』という声がある。どうか、この様なクラブに花を持たせて欲しい。もしかすると「地区的、或いはグループの多クラブ合同の親睦活動を広げること」に閉塞しているロータリーの展開の可能性があるかもしれない。そんな思いを「世界中でビールを楽しむロータリアンの親睦活動」にのせる…。

広報委員会

委員長 杉江 俊太郎(小樽RC)

**14-15年度広報委員会活動報告**

自分で大勢の人に影響を与えることは難しい。理解を得るために、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外の人を含めた数多くの人々に働きかけることが重要だ。～ポール・ハリス～

今年度11年ぶりに広報委員会が地区に設置されました。「ロータリーの広報」の目的は一般の人々にロータリーを広く知り理解を深めていただき、仲間を増やすことです。それは、ロータリーの素晴らしい活動を正しくわかりやすく伝えるために、周りの人々に伝える事が増え、その人たちの中から仲間として一緒に活動してもらえるようになります。また正しくわかりやすく伝えるためには、ロータリアン自身がもっとロータリーの理解を深めることができます。つまり広報することによって、更なる会員の意識の向上が生まれ、クラブの活性化と会員増強につながることが出来ます。その考え方をベースに当委員会として2つの事業を実施しました。

一つは「ロータリーデー」に合わせた新聞記事掲載で、初めてのチャレンジとして良い企画だったとか、一般の人が見てもわかりやすい内容で広報として有意義な事例となったとの賛同の意見と、今の時代で新聞掲載の効果がどれだけあるのかとか、ロータリーとしてあんな派手な広告はするべきでないなど疑問の意見もあり、これも今後広報のあり方を議論していく題材になったと思います。

二つは一般の人々が見ても出来る限りわかりやすく意識して、ロータリー活動の紹介を記した入会促進パンフレットを作成し、各クラブに配布しますので活用して頂ければ幸いです。

この1年間、お世話になりましたガバナーや多くのロータリアン、ご協力頂いた外部関係者の方々に心から感謝申し上げます。

IC委員会

委員長 里見 英樹(札幌幌南RC)

**退任ご挨拶**

国際ロータリーのゲイリーC.K.ホアン会長の掲げた2014-2015年度テーマ「ロータリーに輝きを」をイメージとした羽部ガバナーの指示のもと、地区Webサイトのリニューアルを実施いたしました。羽部ガバナーより花火のような年度のテーマである輝かしいデザインにして欲しいという要望から、現在のホームページとなりました。

私のIC委員長の取り組みとしての大きな課題は、地区Webサイトを通じての情報発信はもちろんのことですが、永続的に更新作業が発生する地区サイトの維持管理について、今後継承するであろうIC委員にサイト更新等における技術的な負担を軽減するための環境構築と仕組みづくりも必要であろうということでした。地区サイトを運営するための環境として、複数存在するWebサイトURLやメールアドレスのドメイン管理、サーバー管理を維持するためには相応の知識が必要ですが、それらを軽減する事により、地区サイトのコンテンツ充実に安心して力をいれていく事が可能になると確信しております。さらに情報発信のメディアとしてロータリアンの皆様に今まで以上に認知・活用されるものと思っております。このような方針のもと2014-2015年では地区サイトのリニューアルに合わせて、レンタルサーバー等の統合を行い、今後の管理移管を容易なものといたしました。

反省点としては、各委員会から連携が限定的であり、要請のあった記事や写真のみ掲載となりました。今後は各委員会やクラブとの連携をIC委員会からもアプローチし、地区Webサイトを積極的に活用していただくための仕組み作りを取り組む所存でございます。

今年度は初めてのIC委員長として、地区委員・各クラブの方々並びにIC委員の皆様に、アドバイス等を通じて大変お世話になりましたことに感謝を申し上げます。また、引き続き2015-2016年度も宜しくお願い申し上げます。

職業奉仕委員会

委員長 福田 武男(千歳RC)

**退任ご挨拶**

地区職業奉仕委員会の目標はただ一つ、それはロータリーの根幹と云われ且つ中心概念をなしている「サービスの心」の大切さを地区内のすべてのクラブに伝えていくことである。

2年度に亘り地区内12グループを4つに分けて「グループ合同職業奉仕フォーラム or IM」を実施する、クラブ要請に応じて「卓話」を実施する等々、予定していた年度内の活動はおおよそ完了することができた。思えば2年前は、「職業奉仕の小冊子」を作成すると大言壯語した。ロータリーの何たるかを全く理解する機会を与えられることなく止む無く退会してしまう会員を救うには、ロータリーとは何かを教える教材のようなものが必要ではないかと考えたのだ。しかし、それには時間もかかり、コストの問題もあり、そして最大の問題は、「ロータリーは、同じ景色をみても捉え方や感じ方が十人十色で異なるように、一定のものに固定されるべきものではない」、また「同じロータリアンがその同じ景色をみても、時間の経過と共に感じ方・捉え方が異なってくるものである」と感じたためだ。しかしそれではRIがロータリーの思想を軽視しつつある現在のロータリーの世界では、ロータリー歴の若い会員がロータリーを理解する機会は永遠に閉ざされてしまう。

そこでこの問題を解決すべく次年度は「ガバナー月信」を活用させて頂き、「サービスの心」をクラブ委員会を通じて分かり易く伝えようと考えてみたが、残念ながら次年度のラビンドラン RI会長エレクトの方針に合致せず、断念せざるを得ないことになる。更に次年度からは職業奉仕月間は最も忙しく且つ根拠もない1月に追いやられ、まさに風前の灯なのである。昨年末のRI理事会で「ロータリーの行動規範」が更に改訂され、1912年に地域社会から激しい批判により禁止された行動が復活するという。ロータリーはどこへ行こうとするのか。

社会奉仕委員会

委員長 遠藤 浩一(岩見沢RC)

**退任ご挨拶**

今年度から委員長を務めさせていただきました。

地区委員会としてはRIの基本的考え方や各クラブの活動などを研修協議会やクラブでの卓話を通じた中で行っています。各クラブは環境、文化、福祉、育成など様々な分野で取り組まれています。その形態はクラブ単独、複数クラブ合同、また地区補助金を有効に活用している例も多くあります。地区委員会として次年度はその素晴らしい活動に幾つか参加し実際に体感してみたいと思います。

また、奉仕プロジェクト委員会では、福島キッズキャンプは多くのクラブの方に応援をいただき、参加者と本当に心を通じた取り組みができます。まだまだ多くの悩みを抱えている現実です。今までの交流を通じて何かの一助になればいいと思っています。

その他、職業支援、台湾友情交換、育成セミナー、財団委員会など多くの事業や会議に参加するなど多くの経験をさせていただきました。次年度も皆さんのご協力をいただき、少しでもお役に立ててください。

国際奉仕委員会

委員長 松原 重俊(砂川RC)

**世界の子ども達の笑顔のためにー私達にできること part3ー**

今年度も、タイ国3地区(第3340地区ノンカイ、第3350地区アムナットチャロエン、第3360地区チェンマイ)の実情に応じた事業を実施とともに、羽部ガバナー、遠藤PG財団委員長、神部VTT委員長はじめ27名の参加の中で検証も行いました。

タイ国と10年以上に渡って、水事業・図書館事業・チェックダムなどを中心に事業を実施、子ども達・先生・地域住民の皆さんに沢山の笑顔を届けることができました。ご協力を頂いた各クラブの皆様に心からお礼を申し上げます。

その中で、両親に置いて行かれたり、亡くなったり、虐待を受けて保護されたりなど、犠牲になっている子ども達が増加している現状がある事を知りました。この現状の中で、子ども達が将来ストリートチルドレンなどにならずに社会の中で生きていけるためには、教育や職業訓練を受けることが必要であり、そのため現在、ロータリー財団の協力を受け地区補助金・グローバル補助金を利用、さらにVTT委員会と合同で「職業訓練支援事業」を実施すべく申請し、財団委員会の絶大なるご協力により、無事申請が承認されました。今後は、タイ国の現状に応じ、持続可能な事業になるよう、将来を担う子ども達にとって最も必要な事業として力を注いでいきたいと思っています。皆様のお力添えを頂きながら進めて行きたいと考えておりますので、地区内各クラブの皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。今後、事業を継続することは当然の事として、培ってきた友情と絆をさらに深く強いものにし、世界の子ども達がいつも明るい笑顔でいるような事業展開をしていきたいと思っています。

そして、2014-15年度は、地区内37のクラブから地区国際奉仕事業へ申請を頂き、本当に素晴らしい活動を行う事ができました。この場をお借りして、ご協力を頂いたクラブの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会

委員長 出村 知佳子(札幌北RC)

**活動で輝いた1年に感謝して**

「ロータリーに輝きを」のテーマの羽部大仁ガバナー年度でしたが、奉仕プロジェクトも、青少年奉仕もそのことが示すように、活動に輝きを増した1年を過ごさせて頂きました。

奉仕プロジェクトでは、復興支援の事業として東日本大震災より継続して実施して頂いているキッズキャンプの事業を、今年度は北海道に避難をされている親子の皆様をご招待して実施。その実施には奉仕プロジェクト委員会の多くの委員がマンパワーを注いで下さい、多くのクラブの皆様にも御支援を頂き、参加者の皆様から本当に素晴らしい時間を過ごしたと伺っていました。また、今年度初めての台湾3490地区との友情交換も手探りの中でしたが、多くの皆様の御尽力で感動的なものとなりました。

その他にも職業訓練キャンプ(グローバルグラン)のお手伝い等、多くの素晴らしいロータリアンの皆様の汗を流す姿や活動を通して相手を思いやる姿勢を見せて頂いた1年でした。活動に御尽力頂いた皆様には、感謝の気持ちしかありません。また、合わせてこれらは、最大のロータリーの広報、退会防止につながると教えて頂きました。

また、青少年奉仕委員会では、地区大会並行プログラムにおいて、テーブルマナーとタイの貧困と戦う地域の学生たちへ届ける千羽鶴を作成したり、応援歌を歌ったりしました。ロイン札幌さんの大きなご協力を頂き、青少年の皆さんの誰かの為になりたいという気持ちが強く伝わってきた良いプログラムとなりました。

ロータリアンの為の青少年会議、合同委員会等の会も開催させて頂き、多くの会員皆様のご意見も伺うことができました。青少年交換、インターフェース、ロータクト、RYLAの各委員会の皆様の日頃の御尽力には感謝のことばもありません。どの委員会の活動も輝かしいものでした。各クラブの皆様や各委員の皆様と前向きに率直に話し合うことがどんなに大切かも教えて頂きました。そして、いつも励まして下さり、支えて下さい、活動に輝きを与えて頂きました。

羽部大仁ガバナー、地区幹事の皆様に心より感謝申し上げます。本当に疲れ様でした、ありがとうございました。

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

ローターアクト委員会

委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)

退任ご挨拶

昨年度に引き続き、ローターアクトクラブとロータリアンの距離を縮め会員拡大やクラブの活性化を目指して活動してまいりました。その方法の一つとしてガバナーの各ローターアクトクラブへの訪問をお願いしたことです。

二年目になりますので各クラブも要領がわかり受け入れもスムースになりました。初年度ローターアクターからは「ガバナーとかガバナー補佐ってなんですか?」という質問が出ましたが、二年目になりガバナー補佐もクラブ訪問にご参加頂けるようになつたことで、近隣のローターアクトを提唱していないクラブのメンバーにもご参加頂けるようになりました。少しずつではありますが各グループ内にローターアクトに対する認知度が高まりつつあると感じます。ローターアクトメンバーからも少しロータリーに対する理解が深まりました。

本年開催されました函館大学ローターアクトクラブがホストをした地区大会には、國立ガバナー・ミニ・デジネートをはじめ非提唱グループから2名のガバナー補佐が参加して下さいました。各グループでも関心を持って頂ける傾向にあるのだと感謝しています。函館大学の実行委員会の皆さんには、今までにないロータリーの地区役員へのご案内文の作成や発送などで何かと余分な手数をかけたと思います。また地区的ローターアクト役員会とロータリーのローターアクト委員会の合同会議を開催し、地区役員会から会長・幹事会への議案の上程をより円滑化し相互の理解を深めることにより、地区運営もさらに活性化していくものと期待しています。本年度はローターアクトの事前の調整不足から残念なことに海外研修が行えず国内研修に終りました。次年度は地区代表を中心に計画性をもって地区運営をされることを期待しています。

数年前からインターラクトの年次大会に参加し、ローターアクトへの入会の勧誘をさせて頂いており認知度も上がっていきますので、今後に期待しています。ロータリーの地区大会の時にローターアクトメンバーが直接勧誘するのが一番ではないかと感じています。また青少年交換学友やRYLA、米山奨学生など各方面へのアプローチが今後の会員拡大につながることを期待しています。



インターラクト委員会

委員長 山口 史朗(札幌東RC)

1年間の活動を振り返って

1年間の活動を振り返る時、インターラクト達の純粋でひた向きな姿に、多くの気づきと感動をいただいた事に思い至ります。昨年9月20日「ロータリアンのための青少年会議」では、北海高等学校インターラクト部部長、堤俊洋君が代表して活動紹介をしました。ハキハキ堂々として分かりやすい紹介で、日頃の多岐にわたる活動が目に浮かぶようで、大変好評をいただきました。

10月5日「地区大会並行プログラム」では、タイ・ロイヤルキングスクールに激励のビデオレター作成と千羽鶴折り。活動の意味を理解したアクター達は、その後も千羽鶴折りを継続しました。後日、私あてにダンボール箱一杯の鶴が送られて来ました。思いを込めた大量の鶴に、胸を打たれました。

今年6月20日「年次大会」一日目の夜、プログラムが終了した後の宿泊先では、自主的に感想を語り合う姿が見られました。「地球のステージ」で初めて知った難民キャンプや紛争被爆地の過酷な現状と、その中で生きる子供達の無垢な瞳に衝撃を受けたようでした。何も知らない自分、何も出来ない力の無い自分、それでも今出来ることを精一杯やりたい、そんな思いを涙ながらに口ぐちに語り合う光景に胸が熱くなりました。未来は間違いくなく君達のものだ。

ロータリアンとして、出来る限りの支援をしていきたいと、改めて感じた1年間でした。



青少年交換委員会

委員長 出口 修(札幌大通公園RC)

退任ご挨拶

青少年交換が抱える課題の一つに、「早期帰国」があります。1年間のプログラムを最後まで終えることなく、2-3か月で帰国してしまうケースが後を絶ちません。当地区でも残念ながら毎年1名が早期帰国をしています。多くは、ホームシックという名目になっています。実態としてはホストファミリーとうまくいかない、あるいは、学校で友達ができないという背景です。当地区では、最低でも1ヶ月に1回は受入学生全員が一堂に会する機会を設けるよう配慮しています。そのような場での英語でのコミュニケーションや息抜きが彼らには大切だと考えるからです。

「青少年交換の意義」は、何よりも子供たちの成長だと思っております。これも、受入クラブそしてホストファミリーの多大なる努力の上に成り立ち、そして皆様の浄財である多額の年間予算を使いながら、年間5-6名の交換実績は、委員長として申し訳ない思いもあります。RIが提唱しているところの、青少年交換学友から、ローターアクトからロータリアンへという流れを作りたいという思いもありますが、なかなか目に見える実績が出ないので事実であります。そういう中、最近、藤崎前駐米大使の講演を聴く機会がありまして、グローバルな人材を育てるためには、外人の教師を雇うのではなく、日本の教師をもっと留学させ、彼らが戻ってきて子供たちに良い影響を与えるほうが効率的かつ効果的であると主張されておりました。私にとりましては、「目からうろこ」でした。受入学生の皆さん、日本の文化や心を学び、帰国して家族や友達、そして将来のビジネスでの同僚に多くの影響を与えることで、たった一人の成果がどんどんと波及していく。青少年交換プログラムはその大きな可能性を秘めていると今では考えるようになりました。



2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

RYLA委員会

委員長 増山 柳(江別西RC)

今年度終了のご挨拶

「地域から世界へ、奉仕の在り方を考えてみよう」をテーマに2014-2015年度地区RYLAセミナーが、羽部ガバナーのご配慮により慧林寺にて1泊2日の日程で開催されました。今年度は17歳から27歳までの社会人12名、大学生9名、高校生2名、出口青年交換委員長の推薦を頂いた3名のアメリカの高校生を含め26名の参加者となりました。昨年度RYLAセミナーへの参加者であった(RYLAtrain)3名が参加してくれたことで、より充実したものになった様に思います。

今年度はRYLAセミナー2年目、昨年度をモデルとして取り組みましたが、参加者に『よりロータリーを理解してほしい』との思いから、現在国際的にロータリーで活躍している方々をメインに打ち出したカリキュラムと致しました。

1日目は、6グループに分かれての(社会人、大学生、高校生の混合)コミュニケーションゲームをボイスカウト指導者の指導によって行いました。その後、昨年好評だったスポット探訪を取り入れ、慧林寺から豊平橋~南大通1丁目迄の歴史的な逸話や痕跡20ヶ所を、グループで2時間かけて回り、夕食会場に集合。イタリアン料理を楽しんだ後は宿泊先の慧林寺へ~各部屋からは夜遅くまで楽しそうな会話が響いていました。

2日目は羽部ガバナーから「幸せになりたい人はどうすれば~」という素敵なお講話の後は、タイ北部国境地帯に住むアカ族の子どもたちのために現地に移住し支援を続けている、原田義之先生の情熱的な講演を頂きました。講演を受けてのグループディスカッションのテーマは①貧困とは何で計るか②識字率が下がると何故子どもが多くなるのか③自分達ができる奉仕とは、についてです。ディスカッションはRYLAtrainのアドバイスを受けて始まり、発表は活発な話し合いが出来たことが伺えたものとなりました。最後は松原国際奉仕委員長の、2510地区に於ける国際奉仕についての報告となりました。参加者にとりまして、世界に目を向けた奉仕活動は刺激的で心に残るものであったと信じています。

参加者をご推薦して下さった皆様に深く感謝いたしますと共に、ロータリアンの皆様にご理解ご支援を頂けますよう、来年度も努力して参りますと思っておりますので、これからも益々のご協力をよろしくお願い申し上げます。



ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 秀雄(登別RC・PG)

退任ご挨拶

2013-14年度から財団委員長を仰せつかりました。丁度新しい補助金プログラム(未来の夢計画)がスタートした年でした。新しいプログラムは従来、人道的プログラムと教育的プログラムと云う括りで細かく補助金が分かれしていましたが、未来の夢計画では、グローバルと地区と云う概念に分かれ、グローバル補助金はロータリー財団に、地区補助金は地区に裁量権が分かれました。またグローバル補助金は奉仕活動の目的が6つの重点分野に限られていますが、地区補助金はロータリー財団の使命に沿っていれば、人道的プログラムでも教育的プログラムでも活用することが出来ます。各クラブの奉仕活動によっては活用し易くなっています。そのかわり、奉仕活動実施後2ヶ月以内に報告書の提出が義務付けられております。3年前の地区からの年次寄付額の1/4が地区補助金として配分されます。今年度は73,910ドルでした。その半分を地域社会活動費として、残り半分を奨学金、災害復興支援、国際奉仕活動費、青少年奉仕活動費に当てました。

グローバル補助金は奨学金、タイ東北の病院に医療機器を、タイ東北の貧困地区に職業訓練支援事業に、また今年は特にRI・地区をあげてボリオ撲滅活動に力を入れるため、皆様からの寄付の他に地区からも使途指定寄付を致しました。その甲斐あってか2015年1月~6月のボリオ症例数は27名と大幅に激減致しました。世界の不幸な子ども達をなくすために大変喜ばしい事だと思いますし、ロータリアンの底力の大きさに感動しています。

新しい補助金プログラムが始まって2年が経ちますが、ロータリー奉仕活動に財団の関与が徐々に広がっていることを実感致します。これはロータリアンが財団を自分達のものであるという自覚を高めると共に、財団への協力が求められていると考えます。次年度も宜しくお願い致します。



財団資金管理委員会

委員長 久保田 俊昭(札幌RC)

補助金の多面的な活用を願って

当委員会は、財団の未来の夢計画の本実施にあたり、新しい補助金プログラムをスムーズに導入するために、財団委員会の下部組織として設置されました。

地区内の各クラブが、地域密着での奉仕プロジェクトや国際奉仕活動等を展開するうえで、皆様方の善意による净財を効率的に活用するためにも、透明性が高く、フェアで効果的な配分と、実施成果の認証を適正に実施していくねばなりません。

2013-14年度に本実施された新しい補助金システムの運用にあたっては、地区やクラブの皆様方のご協力とご支援によって、比較的スムーズに展開できたものと思っております(地区補助金の申込みは、旧来では年に10数件でしたが、2013年度は34件、2014年度は20件に達しております)。

またクラブが、新しい地区補助金を活用して各種プロジェクトを早期に実施できるよう、地区としては、実施年度の前年度の6月末までに財団へ申請することとし、クラブからの地区への申込み期限を4月末としております。このために、クラブにおかれましては、業務処理を計画年度と実施年度の2ヵ年になたがって行なわねばならなくなりますので、提案・実施・結果報告等の引継ぎ体制について十分留意されよう宜しくお願い申し上げます。なお、当委員会が主として担ってきた「補助金管理セミナー」や「財団セミナー」の実施等によって、クラブのご理解も深まってきており、当委員会の使命は一段落したものと思っております。また、財団の優先事項を効率的に推進するためにも、財団関係の委員会構成や業務分担を見直すと共に、奉仕グループとの連携強化を一層図る必要があります。このために財団委員会を体制強化して、当委員会を廃止することとした。

これまで賜りました皆様方の温かいご指導・ご協力に感謝申し上げ、クラブの今後ますますのご発展を祈念して御礼に代えさせて頂きます。



財団資金推進委員会

委員長 鍋谷 操子(函館セントラルRC)

**寄付により奉仕の感動を分かち合いましょう**

当委員会は、地区における財団への募金活動と寄付者の表彰や認証を管理・監督する役割を担っております。

1917年の国際大会で、6人目のRI会長のアーチ C・クランフは、ロータリー基金の創設を呼びかけました。翌年、カンザスシティーRCが26.5ドルを基金に寄付しましたが、これがロータリー基金にとっての最初の寄付金となります。また、ロータリー財団が最初のプログラムとして実施したのが、18名の大学生への奨学生の贈呈であります、これが旧来の国際親善奨学生制度の始まりであります。

私達が、地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化・充実していくためには、奉仕活動の強化と資金面での援助が必要であります。2004年規定審議会では、「Every Rotarian Every Year」が支持され、1人1人が、毎年、寄付をしてほしいということが決議されております。その後、日本の財団役員からは、日本全体の寄付額の平均(137ドル)から推して、2012年度の途中から一人150ドルをお願いするように求められ、当地区としては、2014年度から、1人当たり寄付額は150ドル、地区目標を35万ドルとしております。なお寄付金としては、上記の年次寄付以外に、恒久基金・指定使途寄付・ボリオ撲滅への協力についてもお願いして参りましたが、ロータリアンの皆様のご理解が進んでいないのが残念でなりません。しかしながら私が委員長に就任以来、大口寄付者(Major Donors)やポール・ハリス・ソサエティーへの入会について力を入れた結果、大口寄付者は3年前には11名でしたが、現在では55名に達し、毎年千ドルを寄付することを約束された方は、4名から44名へと増加しております。ご協力頂いた皆様に改めて厚く御礼申し上げます。なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で、寄付行為に感謝の意を表す「認証」があり(寄付者とすぐに分かるよう着用できるピンなどを寄付者に贈呈)、また、個人や法人の寄付に対して、税制上の優遇処置を講じることができます。しかしながら寄付することによって、世界中の奉仕活動に参加していることにも通じますので、国際ロータリーの活動を支援するという見地においても、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

社会経済情勢が先行き不透明で、景気回復に向けての足取りも定かでない今日、財団へのご寄付をお願い申し上げることは誠に心苦しいことではあります。しかしながら寄付することによって、世界中の奉仕活動に参加していることにも通じますので、国際ロータリーの活動を支援するという見地においても、皆様方の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

財団補助金委員会

委員長 斎藤 康嗣(札幌真駒内RC)

**退任ご挨拶**

羽部年度は、地区財団補助金のクラブ支給を7月中旬にするとの方針により、申請の締め切りが3月31日となり、審査期間が短縮されました。又未来の夢計画の2年目になり、1年目の実行報告が新年度の申請に間に合わない状況が発生しました。予定では7月初めにロータリー財団に申請するが、7月末となりました。8月中旬に承認があり、9月9日本事務局から入金がありました。各クラブには9月9日以降支払を行いました。

2014-2015年度ロータリー財団からの地区補助金額は、7,539,821円。(1ドル102円換算)配分は、地区クラブ奉仕補助金3,544,200円・地区財団奨学生金1,632,000円・地区国際奉仕1,224,000円・地区社会奉仕1,020,000円・地区クラブ奉仕申請件数20件・申請額4,906,340円・承認件数20件・決定額3,544,200円。

追加、ライア委員会100,000円・振込み手数料等19,621円。合計7,539,821円でした。

補助金は3年前の各クラブ寄付金額が審査の対象になりますので、各クラブの皆様は長期計画での奉仕活動を考え、申請をお願い申しあげます。各クラブの皆様には申請の手続きをいただき、またご協力をいただき深く感謝いたします。

有難うございました。

職業研修チーム委員会

委員長 神部 洋史(滝川IRC)

**職業研修チーム委員長を終えるにあたって**

矢橋がバナー年度の地区幹事、渡邊年度の地区代表幹事を終えて、やっと地区的仕事から解放される時に、当時のGSE委員長から突然委員に指名され、翌年には委員長に無理やり指名された。ただその間にスウェーデンンドイツのGSE交換を経験していたので、そん難しい役ではないように思われた。ところが「未来の夢計画」でGSEがかなり、急速VTT(文中職業研修チーム委員会はVTTと略す)に変わり、それまでのノウハウは全て不要、新たにVTT(最初の1年目だけ職業研修委員会であった)という新しい概念の委員会を主幹することとなった。

最初の年は何も資料がないため、国内5つのバイロット地区のVTTの報告をネットやロータリーの友で検索して勉強した。その結論として「VTTは専門職種に携わる人でチームを結成して、職業上のスキルを向上させるために他地区に派遣したり、受け入れたりする委員会」と言う事が解った。委員会のメンバー全員がGSE上がりの知識しかなく、当初は苦労したが、この委員会の活動資金はグローバル補助金を得なければ何も出来ないことが基本であるという結論に至った。また活動上の制約は多く、そのグローバル補助金を得るには、6つの重点分野のいずれかに合致していないければならないこと、事後の検証可能であること、持続可能であること、活動資金が30,000米ドル以上で21,000ドル以内の活動の半分を補助金で補充できるなど課題が多く、当初外国の他の地区の要望等知りようがないと思われた。そこで外国の地区とバイブルがあった国際奉仕委員会に相談して、長年タイで展開されている支援事業に合わせれば、スキルを欲している方々の支援を行えればVTTが成立するのではないかと委員会で結論を得た。色々な事柄についての行き違いや予想と違うことがあったが、とにかく他委員会共同でタイの職業支援(就業支援)を行い、一定の評価を得て最初のVTT活動を行い、地区での仕事を終えられたことを、関与されたVTTの派遣講師の皆さんとVTT委員会全員、さらに国際奉仕委員会の松原委員長と財団委員の出村さんに心より感謝申し上げ、羽部がバナーのご厚意に敬意を表します。

次年度からVTTは財団委員会ではなく奉仕プロジェクト委員会傘下の委員会になりますが、動きやすくなることを祈念して、私の地区委員の総括を終えたいと思います。
=感謝=

奨学生委員会

委員長 齊藤 博司(千歳セントラルRC)

**=委員長2年目を終えて=**

「未来の夢計画」に基づいての活動は、昨年度がスタートの年度でもあり、試行錯誤の連続でした。本年度は2年目と云ふことで、委員会メンバーも増強し、少しはスムーズに活動が進行できた年になりました。

例年のごとく前年度中に各RC推薦状を含めた書類が当委員会にあがってくるので、候補者を書類選考し、本年度7月には、遠藤秀雄(PG)財団委員長をはじめ、出村財団委員・財団学友委員長・当委員会委員を交えて最終面接審査を実施しました。

結果、財団補助金を利用しての3ヶ月文化研修生はインドに、6ヶ月文化研修生(2015年6月帰国予定)はイタリアに派遣されました。また、グローバル補助金対象者(1学年度)2015年7月-16年6月にイギリスへ派遣予定です。

これらの行事・活動を支えていただけたIC委員会の地区HPへのアクセスに対してのご指導、またグローバル補助金候補者の選考・RIとの交渉など並々ならぬご指導・ご支援をいたいた出村財団委員に感謝申し上げます。

オリエンテーションを含めた委員会活動にご参加していただいた財団学友委員会・財団学友会の皆様、本当にありがとうございました。そして、当委員会のメンバーの7名には絶大な信頼をおくと共に感謝申し上げます。

財団学友委員会

委員長 菅原 秀二(札幌大通公園RC)

**退任ご挨拶**

今年で財団学友委員会の委員長として、最後の年度となりました。私自身が第2代目の財団学友会会長だったということもあって、その財団学友会とがっかりとスクランブルを組んで、この3年間運営することができました。その中心となる事業は、「帰国報告会」と「学友会総会」です。それに合わせて、ニュースレターの最新号も作成されます。例年、学友やロータリアンを中心に40名ほどの出席があり、今年度も盛会となりました。ガバナーはじめ御出席のロータリアンの皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。さらに今年度の報告会では、新制度での奨学生が帰国し、初めての報告となりました。地区補助金での文化研修生2名がそれにはあります。彼女たちには、今後当地区での活躍が期待されます。

この3年間の中で特に印象深かったのは、「日本学友会」や「米山学友会」との絆が深まることです。この両者の総会には、毎回学友委員会あるいは学友会より数名の代表者を派遣することができました。逆に、この間残念だったのは、国際親善奨学生の制度が変更となり、奨学生を出せない時期もあったことから、学友からロータリアンを輩出するという事態にまで至らなかったということです。学友からもっとロータリアンを輩出できれば、本地区的活性化に大いに寄与することができると思っています。今後に期待します。

今後、「職業研修チーム」から新たな学友をお迎えできることになりましたし、ローターアクトやインタークアト、青少年交換のOBも学友として財団学友委員会の管轄になると聞いています。ロータリーと学友とをつなぐ一環として、財団学友委員会の役割はますます大きくなります。私自身も、ここで委員長は退任致しますが、来年度も引き続きを兼ねて委員会に残ることになっております。微力ですが財団学友委員会の発展に力を尽くしたいと思っています。

3年間どうもありがとうございました。

ポリオプラス委員会

委員長 岡崎 芳明(小樽南RC)

**RI第2510地区ポリオ撲滅活動の1年**

今期羽部ガバナーのポリオ撲滅の強い意志により当地区で初めてポリオプラス委員会が発足致しました。ポリオ撲滅に関わる長いロータリーの歴史と、ポリオとの闘いを再確認することにより、重い責任を感じ委員会をスタート致しました。

委員会の活動としては前年度の3月から今年度6月まで合計14回開催し、各クラブの皆様の募金活動の支援を第一に考え、END POLIO NOWバッジを全会員の胸に付けて頂き、ポリオ募金キャンペーンのポスター、しおり、募金箱シール、のぼりを作成し、皆様のキャンペーンにご利用頂きました。お陰様でバッジ売上げにより、残高425,695円をポリオ撲滅の寄付にさせて頂きました。ありがとうございました。

ロータリーデー＆ウイークは9月14日を中心に開催され、その折にポリオ撲滅活動を市民に訴える機会と捉え募金を募り、また10月4日の地区大会に於いて、会員の方々にポリオ撲滅活動の機運を高め募金活動の推進を図ることを企画致しました。またロータリーのイベントとして開催された“シャンティさんのチャリティーコンサート”を委員会がサポートし、その際204,304円集まりポリオに寄付させて頂きました。今後とも(ポリオは既に撲滅されたと言う誤報)(ポリオ撲滅は不可能)と言う情報を払拭する為にも撲滅の為の努力を続けて行かなければならぬと考えております。地区大会に於いて、クラブから提供頂いたポリオ撲滅活動の写真や動画を発表出来ましたことは、クラブの日頃の奉仕活動の賜物であると感謝申し上げます。

今期の寄付総額について1クラブ\$1,500の目標でしたが、6月30日現在クラブ寄付が\$70,603、地区DDFより\$41,500、合計\$112,103(7月4日発表)と大多数のクラブより寄付を頂き大きな成果を上げることができました。各クラブの会長、担当する委員会、ガバナー補佐の方には、多大なるご協力を頂いた事に感謝申し上げます。6月30日現在、ポリオの発症国は2ヶ国(前年9)、27症例(前年94)と激減しております。次年度は会員1人\$30という新しい寄付目標額に向けて同様のご支援と御協力をお願いする事になりますが、更に募金額\$1,500を超えたクラブは財団より表彰されます。

前年度同様に地域に対しても撲滅キャンペーンを続けて頂く事をお願いし、ポリオプラス委員会よりの報告に代えさせて頂きます。
END POLIO NOW撲滅まであと少しです。

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

米山記念奨学委員会

委員長 渡邊 葉子(札幌西北RC)



寄付により奉仕の感動を分かち合いましょう

委員長2年目を終えました。ようやく米山記念奨学事業の全容が見え始めました。

奨学事業ハンドブックの表紙に【奨学事業の価値は“どんな奨学生を採用したか”】で決まります。さらに、意味のあることは、“どんな奨学生に育ったか、育ってくれたか”です。】と記載されております。これを最初に見たとき、随分難しい！と思いました。2年が過ぎこの言葉に込められた思いの深さは理解できるようになりましたが、「難しい！」という思いが強まるばかりです。

過日行われました札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブ認可祝賀会で大変嬉しい事がございました。チャーターメンバー11名のうち3名が元米山奨学生でした。早々に米山寄付をしてくださった方が居られました。李英愛さんにお礼を申し上げますと、「皆様のご恩に少しですがお返しが出来るようになされました」と涙ぐまれました。嬉しい限りです。彼女を育ててくださり、ロータリーの素晴らしい伝統を伝え頂いた世話クラブ、札幌幌南ロータリーカラーラーの皆様に心より感謝申し上げます。カウンセラー・世話クラブの責任の重さ、選考の難しさを痛感していたところでしたので、彼女の言葉に、私自身が励まされ沢山の元気を頂きました。

奨学期間を終了した後も、学友になられた方々と末永く交流を重ねロータリーファミリーとしての絆を深め、共に地域奉仕活動が出来るように奨学生の皆さんが育ってくれたらと願いながら残された任期を務めてまいります。皆様の更なるご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

米山学友委員会

委員長 半田 善行(小樽RC)



退任挨拶

地区に小樽RCより選任され「米山記念奨学委員会」に3年出向し、最終年度に副委員長となり、その後、前委員長の大石さん(札幌はまなすRC)に「米山学友委員会」に誘われすぐ副委員長。翌年大石委員長退任に伴い私が5代目の委員長に就任し3年が経過しました。その7年間に多くのロータリアンや奨学生・学友との出会いに感謝いたします。

思うほど委員会活動が十分に出来ない場面もあり自身の能力に限界を感じましたが、多くの皆様に支えられて今日に参りました事を思いますと楽しい7年間でした。

ただ近年の島々の政治情勢なのか「学友会」の運営不備なのか判りませんが、韓国学友の方々の参加がここ2年間無かったことが気にかかります。今後は課題を少しずつ改革する事を次期に期待をしながら米山学友会委員長を退任いたします。有難うございました。

「ネパール大地震災害義援金」報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました、4月に発生した『ネパール大地震災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の62クラブから総額2,072,635円を頂戴致しました。

6月24日に当地区1998学年度米山奨学生として在籍(室蘭工業大学)していたギリラムさんが会長に就任している東京米山友ロータリークラブにお振込み致しました。

ネパールへの支援の様子は、東京米山学友ロータリークラブ・ホームページでご覧下さい。

(http://yoneyamaui.jp/event/earthquake/nepal_report_0527.pdf)

深川RC、妹背牛RC、留萌RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、江別西RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稻RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌南RC、新札幌RC、岩内RC、俱知安RC、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、北広島RC、長沼RC、由仁RC、えりもRC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC、洞爺湖RC、函館RC、函館亀田RC、森RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、北斗RC、白老RC、苦小牧RC、苦小牧東RC、苦小牧北RC

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

岩見沢RC	倉増 秀昭	会員 (7回)	5月27日	静内RC	福嶋 尚人	会員 (1回)	6月18日
岩見沢RC	澤田 慎一	会員 (1回)	6月19日	函館五稜郭RC	福徳 勲	会員 (6回)	6月19日
札幌北RC	八木 政明	会員 (1回)	6月23日	函館五稜郭RC	石坂 仁	会員 (2回)	6月19日
札幌モーニングRC	藤森 敏昭	会員 (5回)	6月26日	函館五稜郭RC	川内 淳司	会員 (2回)	6月19日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員 (1回)	6月26日	函館五稜郭RC	光銭 裕二	会員 (4回)	6月19日
札幌西北RC	渡邊 葉子	会員 (3回)	6月29日	函館五稜郭RC	窪田 良弘	会員 (1回)	6月19日
札幌幌南RC	閑 正明	会員 (2回)	6月29日	函館五稜郭RC	棟方 勝	会員 (2回)	6月19日
札幌幌南RC	田澤 泰明	会員 (2回)	6月29日	函館五稜郭RC	村田 信吾	会員 (3回)	6月19日
札幌幌南RC	寺尾 壽晃	会員 (1回)	6月29日	函館五稜郭RC	酒井 正人	会員 (17回)	6月19日
札幌幌南RC	和田 王三	会員 (3回)	6月29日	函館東RC	矢島 千穂	会員 (5回)	6月17日
札幌幌南RC (ライラック衛星)	李 英愛	会員 (1回)	6月29日	苦小牧北RC	橘 勇治	会員 (1回)	6月29日
千歳セントラルRC	白木 松敏	会員 (1回)	6月18日	苦小牧北RC	高橋 康則	会員 (2回)	6月29日
長沼RC	清水 慧子	会員 (5回)	6月 2日	苦小牧北RC	山田 新一	会員 (1回)	6月29日

米山功労法人

函館五稜郭RC 東興アイテック(株) 6月19日

米山功労クラブ

岩見沢RC (31回)	6月19日	札幌西北RC (16回)	6月29日	函館五稜郭RC (22回)	6月19日
札幌モーニングRC (17回)	6月26日	札幌幌南RC (21回)	6月29日		

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチブル・ポール・ハリス・フェロー

羽幌RC	斎藤 彰	会員 (1回)	5月	小樽南RC	米山 八郎	会員 (2回)	6月	伊達RC	奥村 孝善	会員 (2回)	6月
札幌真駒内RC	丸山 淳士	会員 (5回)	5月	千歳RC	大西 信也	会員 (1回)	6月	伊達RC	小野寺隆之	会員 (2回)	6月
室蘭RC	濱中 實	会員 (1回)	5月	千歳セントラルRC	白木 松敏	会員 (1回)	6月	伊達RC	大坂 清勝	会員 (1回)	6月
室蘭北RC	川本 康裕	会員 (3回)	5月	伊達RC	浅水 勝男	会員 (1回)	6月	伊達RC	太田 和實	会員 (2回)	6月
赤平RC	藤永 貞治	会員 (2回)	6月	伊達RC	大光 巍	会員 (1回)	6月	伊達RC	楽木 恭一	会員 (1回)	6月
赤平RC	宇戸 啓隆	会員 (1回)	6月	伊達RC	早瀬 芳宏	会員 (1回)	6月	伊達RC	佐久間重行	会員 (2回)	6月
滝川RC	渡邊 恭久	会員 (4回)	6月	伊達RC	平口 泰敏	会員 (3回)	6月	伊達RC	笹木 学	会員 (2回)	6月
札幌北RC	出村知佳子	会員 (3回)	6月	伊達RC	伊藤 金藏	会員 (1回)	6月	伊達RC	菅 俊治	会員 (2回)	6月
札幌北RC	八木 政明	会員 (1回)	6月	伊達RC	堅田 進	会員 (3回)	6月	伊達RC	鈴木 啓一	会員 (1回)	6月
札幌モーニングRC	平田 博史	会員 (2回)	6月	伊達RC	川岸 洋一	会員 (2回)	6月	伊達RC	渡部 良一	会員 (1回)	6月
札幌モーニングRC	井野 智	会員 (3回)	6月	伊達RC	河原 文博	会員 (1回)	6月	伊達RC	山崎 満晴	会員 (3回)	6月
札幌西北RC	西岡 憲廣	会員 (6回)	6月	伊達RC	川南 忠三	会員 (2回)	6月	函館亀田RC	田中 仁	会員 (4回)	6月
札幌西北RC	大野 義雄	会員 (1回)	6月	伊達RC	菊谷 達夫	会員 (2回)	6月	函館五稜郭RC	朝倉 純一	会員 (1回)	6月
札幌手稻RC	山地 庸夫	会員 (4回)	6月	伊達RC	木村 定吉	会員 (2回)	6月	函館五稜郭RC	福徳 勲	会員 (2回)	6月
札幌幌南RC	加藤 康夫	会員 (2回)	6月	伊達RC	小熊 啓司	会員 (1回)	6月	函館五稜郭RC	柏木 秀之	会員 (1回)	6月
札幌幌南RC	閑 正明	会員 (1回)	6月	伊達RC	栗橋 義徳	会員 (2回)	6月	函館五稜郭RC	河村 隆平	会員 (1回)	6月
札幌真駒内RC	高野 園子	会員 (1回)	6月	伊達RC	栗本 茂生	会員 (1回)	6月	函館五稜郭RC	能戸 彰	会員 (1回)	6月
小樽南RC	濱本 進	会員 (1回)	6月	伊達RC	黒野又四郎	会員 (1回)	6月	函館五稜郭RC	晃	会員 (1回)	6月
小樽南RC	本間 清治	会員 (1回)	6月	伊達RC	楠本 誠治	会員 (2回)	6月	函館五稜郭RC	貞森	会員 (1回)	6月
小樽南RC	板垣 明	会員 (1回)	6月	伊達RC	守谷 保夫	会員 (2回)	6月	函館北RC	田嶋 英人	会員 (1回)	6月
小樽南RC	加藤 正幸	会員 (3回)	6月	伊達RC	中嶋 康会	会員 (1回)	6月	函館北RC	石橋 輝夫	会員 (1回)	6月
小樽南RC	工藤左千夫	会員 (1回)	6月	伊達RC	中井 英光	会員 (2回)	6月	函館北RC	松見 修二	会員 (1回)	6月
小樽南RC	白石 亨	会員 (2回)	6月	伊達RC	新井田 孝	会員 (2回)	6月	苦小牧RC	伊部 廣明	会員 (1回)	6月
小樽南RC	鳥井 健次	会員 (2回)	6月	伊達RC	荻野 秀二	会員 (1回)	6月				

ポール・ハリス・フェロー

恵庭RC	水野 凡	会員	5月	札幌幌南RC (ライラック衛星)	松永 さやか	会員	6月	伊達RC	長野 雄二	会員	6月
赤平RC	大坂 晃	会員	6月	小樽南RC	湊 亨	会員	6月	伊達RC	中嶋 康	会員	6月
滝川RC	坂本 和繁	会員	6月	小樽南RC	高木 成一	会員	6月	伊達RC	西川 正	会	

第42回 ローターアクト 地区大会報告

地区ローターアクト委員会
委員長 坂井 治(千歳セントラルRC)



函館大学ローターアクトクラブは、かつて大学のOBの参加を認めていなかったため地区代表を輩出することもなく地区大会のホストもしたことありませんでした。

大会前の会議に参加のため早めに会場ホテルに到着しましたが、玄関にはホストの函館大学ローターアクトのメンバーが出迎えに立ってくれていました。



会議まで時間があったのでメンバーに案内され大会式典の会場で行われているリハーサルの模様を見ました。事前にしっかり準備が出来ているようで肃々と進んでいたのが印象的でした。

大会に先立って地区ローターアクト委員会とローターアクトの地区役員の合同会議を開催しました。その後ローターアクトの会長・幹事会が行われました。安島綾地区代表の点鐘、松谷友梨亞大会実行委員長の開会宣言で大会は厳粛な雰囲気で始まりました。

本大会には國立金助ガバナー／ミニ・デジグネット、



第11グループ大日向豊吉ガバナー補佐、第12グループ手塚貴志ガバナー補佐も参加されました。

開会式では函館東ロータリークラブ五十嵐稔会長の歓迎のご挨拶などもあり、次のプログラムの表彰式、卒業式に進みます。ロータリーとの大きな違いはローターアクトには卒業があるということです。地区大会にはその卒業者を祝って送り出すという役割があります。

閉会式のあとは皆さんお待ちかねの懇親会です。石山嘉治次期ローターアクト委員長の乾杯の音頭で和やかに開催されました。

最後には9月4日に千歳で開催される地区協議会のPRも行われ、再会を約束して閉会しました。

今回は第2830地区・五所川原RAから2名、第2500地区から東方翔地区代表、富良野、北見からの参加もあり親睦を深めることができました。

懇親会、二次会、三次会と深夜までセッティングしていく大さったにもかかわらず、翌朝はきちんとホテル玄関前でお見送りしてくれた函館大学RAの岡部詩織会長はじめメンバーのみなさん、ありがとうございました。

皆さん的心温まるホスピタリティーに感謝です。



海外研修旅行・年次大会報告

地区インタークト委員会
委員長 山口 史朗(札幌東RC)



2014～2015年度を振り返り、例年の2大行事についてご報告申し上げます。

【海外研修旅行】

昨年8月2日(土)～5日(火)の3泊4日の行程で台湾を訪問しました。参加者は、インタークーター17名・顧問教師6名・ロータリアン4名の総勢27名です。主なスケジュールを紹介します。

一日目は台湾到着後、士林夜市を散策。

二日目、台北から台中に新幹線で移動。宝覚寺で高さ30mの弥勒大仏を見学後、日月潭へ。原住民族の食文化を学ぶ昼食。玄武廟・玄光寺を見学して、再び台北へ。

三日目、故宮博物館で数々の至宝を鑑賞。猛暑の中、忠烈祠で衛兵交代式を見学。JTB現地法人元社長の台湾歴史講話を拝聴し質疑応答。過去の戦争体験を乗越え、日台友好の発展のために、平和への決意と相互の信頼関係が大切であることを学ぶ。

続いて今回のメインである施設慰問。「中華民國自閉症總會」を初訪問。障害のある青少年のための施設。理事長・施設長から説明を受け、多くの善意と熱意に支えられていることを知る。入所者との交流会。「ふるさと」「春が来た」「手のひらに太陽を」の三曲を合唱後、一緒に「押し花葉」作りの作業。そして入所者によるオカリナ演奏。披露出来るまで2年の練習期間を要したと聞き、胸が熱くなる。

最後に、記念撮影をしてプレゼント交換。この日を心待ちにしてくれた気持ちが伝わって来ました。夕刻、九時に移動。ノスタルジックな街並みを散策し、郷土料理の夕食。

最終日、全員元気に帰国。言語を超えた温もりの交換を通して、アクター達は大切なことを学んでくれたと思います。



年次大会の開会式風景



中華民國自閉症總會からいただいたバナー

私の雑想ノート No.13 / "service"よりも"usefulness"

パストガバナー 塚原 房樹(札幌東RC)

ゲイリー・ホアンRI会長は、ロータリーに輝きをというテーマを示されました。羽部ガバナーは、そのテーマの意図するところを十分に理解して実行され、今年度、当地区は輝かしい成果を上げることができました。いつも笑顔を絶やさず、新しく衛星クラブの立ち上げをはじめ、ボリオへの募金活動など奉仕プログラムの数々を精力的に実践されました。羽部ガバナー、本当に疲れ様でした。

一年間、羽部ガバナーの大事な月信に私の駄文を掲載していただきありがとうございました。羽部年度の軌跡をつづったこの月信がいよいよ最後となりました。今まで取り留めのことばかり、書いてきましたので、最終号は始祖ボール・ハリスの次のような言葉をご紹介して私の責を果たしたいと思います。

『「奉仕」という言葉より「役に立つ」という言葉の方がより控えめであって、おそらくはるかに適切であろう』

ロータリーは右を向いても奉仕、奉仕の掛け声ばかりです。奉仕という言葉を唱えていることはやさしいが、ビジネスマンの実践哲学として果たしてそれが本当の説得力を持っているだろうか。私は単純に奉仕とは、「人様のお役にたつ喜びであり、ロータリーの精神とはすべての人が持っている善意のこと」と説明してきました。“vocational service”（職業奉仕）にしても、“service”よりも“usefulness”の方が理解しやすいと思います。最もそんなことでは次元が低い。ロータリーはやはり“Service Above Self”でなければならぬ、当時のボールが何といおうと、これが今日のロータリー標語ではないかと主張される方ももちろんおられるでしょう。私も“Service Above Self”を否定しようなどとは全く思っていません。ただ私のような凡人には、せいぜい「役に立つといった程度のことしかできそうもないのに、ボールのこの言葉が好きだというにすぎません。ロータリーは毎年ローテーションをします。この月信が発刊される時は、すでに嵯峨ガバナー年度になっているでしょう。地区的リーダーは変わっても、ロータリーという組織は献身的指導者を育成して世に送り出す使命を持っております。

最後に羽部ガバナーの功績に敬意を表し、嵯峨ガバナーには心からのエールを送り、筆をおかせていただきます。

新会員のご紹介

敬称略



伊達RC
秦泉寺 敦
入会日:5月19日
職業分類:砂糖製造



室蘭北RC
柳谷 純二
入会日:5月19日
職業分類:ホテル業



室蘭北RC
山口 雄平
入会日:5月19日
職業分類:広告代理業



苦小牧RC
吉川 祐二
入会日:5月22日
職業分類:機械器具・材料卸売



苦小牧RC
今野 了
入会日:5月22日
職業分類:地方銀行



滝川IRC
井上 要
入会日:5月28日
職業分類:地方銀行



室蘭北RC
馬場 直志
入会日:6月1日
職業分類:ビルメンテナンス業



岩見沢RC
渡辺 豊
入会日:6月4日
職業分類:大学経営

訃報 謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します

日向 祥一会员

(千歳ロータリークラブ)
2015年5月10日ご逝去(享年73歳)
【ロータリー歴】
1988年4月 入会
1993-1994年度 会員増強委員長
1994-1995年度 職業奉仕委員長
2004-2005年度 ロータリー財団委員長
2013-2014年度 出席・資料管理委員長
ボール・ハリス・フェロー



佐々木 金治郎会员

(千歳ロータリークラブ)
2015年6月4日ご逝去(享年73歳)
【ロータリー歴】
1983年4月 入会
1987-1988年度 米山獎学委員長
1990-1991年度 親睦活動委員長
1993-1994年度 SAA委員長
1997-1998年度 國際奉仕委員長
1999-2000年度 新世代委員長 2004-2005年度 副会長
2006-2007年度 國際奉仕委員長 2010-2011年度 会長
2012-2013年度 ロータリー情報・定款細則委員長
マルチブル・ボール・ハリス・フェロー(2回)



大場 二郎名誉会员

(札幌東ロータリークラブ)
2015年5月26日ご逝去(享年96歳)
【ロータリー歴】
1964年1月9日 入会
1967-1968年度 幹事
1977-1978年度 会長
1987-1988年度 米山獎学委員長
マルチブル・ボール・ハリス・フェロー(2回)



(三石ロータリークラブ)
2015年6月18日ご逝去(享年82歳)
【ロータリー歴】
2010年12月 入会
2011年-12年度 財団米山委員長
2014年-15年度 財団米山委員長



出席率・会員数

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014. 7.1	2015. 5.31	増減	内女性	
1	深川	3	33	35	2	2	87.88
	幌羽	4	47	45	-2	2	88.34
	牛背妹	3	10	11	1	0	83.33
	萌留	3	40	42	2	3	74.66
	小計	130	133	3	7	83.55	
2	赤平	3	29	29	0	0	62.80
	別芦	4	37	38	1	2	77.86
	砂川	3	38	37	-1	0	91.89
	滝川	4	81	83	2	3	67.00
	小計	185	187	2	5	74.89	
3	唄美	4	30	31	1	0	86.68
	別江	3	32	32	0	1	82.29
	西江別	3	25	26	1	3	91.00
	沢岩見	4	74	75	1	0	91.10
	東岩見沢	3	23	23	0	3	73.45
4	沢栗	3	24	23	-1	1	94.00
	山栗	3	24	25	1	4	90.67
	別当	3	25	27	2	1	90.60
	小計	257	262	5	13	87.47	
	北幌	3	112	114	2	0	98.46
5	南幌	3	12	16	4	2	79.17
	北幌	2	33	35	2	3	86.76
	モーニング幌	3	40	42	2	0	68.33
	西幌	3	50	53	3	8	85.42
	西北幌	3	31	33	2	3	83.10
6	手稻幌	4	37	37	0	3	92.45
	東幌	3	114	125	11	0	96.85
	清田幌	3	17	17	0	4	100.00
	南幌幌	4	57	71	14	11	100.00
	真駒内幌	3	22	24	2	4	100.00
7	南幌	3	78	80	2	0	99.58
	大通公園幌	3	12	13	1	1	69.23
	新幌幌	3	22	24	2	3	90.00
	小計	322	354	32	23	93.67	
	内岩幌	4	18	19	1	1	81.28
8	安知俱	4	40	40	0	5	73.00
	樽小樽	3	73	75	2	0	83.41
	南樽	4	71	76	5	2	89.61
	函館錢幌	4	19	19	0	1	80.00
	越蘭	3	11	11	0	0	84.84
9	市余	3	45	47	2	4	82.60
	小計	277	287	10	13	82.11	
	南幌	5	52	57	5	5	89.26
	セントラル千歳	3	31	37	6	4	81.81
	庭惠	4	46	47	1	2	88.41
10	島北広北	3	17	17	0	1	85.42
	沼長	3	19	19	0	3	78.00
	仁由	4	5	8	3	0	62.50
	小計	170	185	15	15	80.90	
	モリエ	4	20	21	1	1	97.62
11	石三	3	15	15	0	2	81.40
	似様	3	24	23	-1	1	71.74
	内静	3	60	64	4	0	88.00
	河浦	3	22	23	1	0	84.06
	小計	141	146	5	4	84.56	
12	達伊	3	57	56	-1	0	79.82
	蘭室	4	37	35	-2	0	76.07
	東蘭	4	35	35	0	0	89.30
	北蘭	3	40	39	-1	3	67.87
	別登	3	31	31	0	1	83.87
13	湖爺洞	3	8	9	1	0	96.20
	小計	208	205	-3	4	82.19	
	館函	4	81	86	5	1	83.48
	田亀鶴函	3	41	42	1	5	95.85
	森	4	39	39	0	0	62.00
14	飯七	3	18	17	-1	0	72.30
	万長	3	9	9	0	0	77.70

2014-2015年度 RIテーマ LIGHT UP ROTARY

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.6.30	増減	内女性	
1	深川	4	33	35	2	2	84.94
	幌羽	4	47	45	-2	2	76.11
	牛背妹	4	10	11	1	0	86.36
	留萌	4	40	42	2	3	81.28
	小計	130	133	3	7	82.17	
2	赤平	3	29	25	-4	0	62.80
	芦別	4	37	37	0	2	81.42
	砂川	3	38	37	-1	0	91.89
	滝川	2	81	83	2	3	73.00
	小計	185	182	-3	5	77.28	
3	美唄	4	30	31	1	0	80.43
	江別	3	32	31	-1	1	85.42
	江別西	5	25	26	1	3	89.20
	岩見沢	4	74	73	-1	0	91.30
	岩見沢東	4	23	22	-1	3	81.12
4	栗沢	4	24	23	-1	1	95.60
	栗山	5	24	22	-2	4	88.80
	当別	4	25	27	2	1	82.92
	小計	257	255	-2	13	86.85	
	札幌	3	112	117	5	0	97.05
5	札幌はまなす	5	12	16	4	2	85.00
	札幌北	5	33	34	1	3	93.99
	札幌モーニング	4	40	39	-1	0	72.55
	札幌西	5	50	51	1	8	84.31
	札幌西北	4	31	32	1	3	81.60
6	札幌手稻	4	37	37	0	3	92.85
	小計	315	326	11	19	86.76	
	札幌東	3	114	122	8	0	99.16
	札幌清田	5	17	16	-1	4	100.00
	札幌幌南	3	57	70	13	12	100.00
7	札幌真駒内	4	22	24	2	4	100.00
	札幌南	5	78	79	1	0	98.24
	札幌大通公園	5	12	13	1	1	61.54
	新札幌	4	22	24	2	3	92.96
	小計	322	348	26	24	93.13	
8	岩内	4	18	19	1	1	91.33
	俱知安	4	40	39	-1	5	72.00
	樽小樽	5	73	74	1	0	85.23
	樽小樽南	4	71	73	2	2	93.92
	樽錢函	4	19	19	0	1	78.00
9	蘭越	5	11	10	-1	0	96.00
	余市	4	45	47	2	4	83.70
	小計	277	281	4	13	85.74	

*札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員7名)を含む

6月出席率・会員増減数
 ●クラブ数 70クラブ
 ●期首会員数 2,497人
 ●当月末会員数(女性) 2,544人(126人)
 ●増加会員数 47人
 ●当月平均出席率 84.20%

グループ	クラブ数	例会数	会員数				出席率
			2014.7.1	2015.6.30	増減	内女性	
10	千歳	4	52	54	2	4	96.40
	千歳セントラル	5	31	38	7	4	82.35
	恵庭	4	46	46	0	2	84.43
	北広島	5	17	17	0	1	87.06
	長沼	4	19	19	0	3	81.00
11	由仁	4	5	8	3	0	75.00
	小計	170	182	12	14	84.37	
	えりも	4	20	21	1	1	98.80
	三石	3	15	15	0	2	69.20
	様似	5	24	21	-3	1	70.00
12	静内	4	60	64	4	0	90.25
	浦河	5	22	22	0	0	92.17
	小計	141	143	2	4	84.08	
	伊達	5	57	55	-2	0	83.12
	室蘭	4	37	34	-3	0	75.04
13	室蘭東	4	35	34	-1	0	100.00
	室蘭北	4	40	40	0	3	75.62
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	8	9	1	0	72.20
	小計	208	203	-5	4	81.64	
14	函館	4	81	82	1	1	84.64
	函館亀田	4	41	41	0	4	92.50
	森	3	39	39	0	0	60.00
	七飯	4	18	17	-1	0	73.80
	長万部	4	9	8	-1	0	86.10
15	函館セントラル	4	27	22	-5	2	67.71
	小計	215	209	-6	7	77.46	
	江差	5	10	12	2	1	61.30
	函館五稜郭	4	46	51	5	0	92.04
	函館東	4	46	47	1	5	82.25
16	函館北	4	21	21	0	0	97.62
	北斗	4	14	13	-1	0	69.23
	松前	2	4	4	0	0	75.00
	小計	141	148	7	6	79.57	
	白老	4	31	28	-3	2	82.00
17	苦小牧	4	48	51	3	2	84.68
	苦小牧東	4	27	26	-1	5	90.74
	苦小牧北	4	30	29	-1	1	86.10
	小計	136	134	-2	10	85.88	
	合計	2,497	2,544	47	126	84.20	



表紙の解説

最終号には「牡丹の花」を描こうと決めていました。牡丹は東本願寺、大谷家のご紋です。私の寺の寺紋でもありますので何か愛着があります。寺の中庭にも毎年綺麗に咲き誇る牡丹の花があります。最後なので上手に描こうとしましたが葉っぱのところに疲れが出ました。

私は浄土真宗の寺に生まれ、ご門徒の皆様にお育てをいただき今日を迎えています。父が急逝したため大学を卒業すると直ぐに寺に戻り住職となりました。きっと心許ない若い住職だったでしょうね。そんな私を支えてくれた言葉が「念仏者は無碍の一途なり」という歎異抄の言葉でした。

私の父は明治生まれで先の大戦にも応召された軍人で、昔気質の人間だったと思います。しかし、何時もお念仏を稱える人であり、不思議な具合でした。最近だんだん父に似てきている自分に気付かされています。不思議とお念仏を申す自分が直ぐ側に居るので、誰かの声かも知れないし父の声のようでもあり、母の声のようでもあります。障り多き自分自身を、障りが障りと成らずに歩むことのできるのが無碍の念仏者かも知れません。

任期を終えたある会合で、信頼するバストガバナーから「君はやりたいことを何でもよくやったね、嵯峨ガバナーのことなど何も気にせずに」と言われてハッとしたしました。この月信の下手くそな表紙の絵と下手な言葉の解説まで加えて最終号までお付き合いいただいた地区内外の皆様に心からの感謝の気持ちを込めて終えさせていただきます。

羽部